

No. 1

第三国集團研修 事前調査団 報告書

—メキシコ 教育テレビ番組総合制作—

1996年9月

JICA LIBRARY



J1130929(1)

国際協力事業団
研修事業部

研 管

JR

96-20

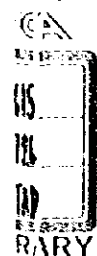
第三国集團研修 事前調査団報告書

—メキシコ

教育テレビ番組総合制作—

1996年9月

国際協力



第三国集团研修 事前調査団 報告書

—メキシコ 教育テレビ番組総合制作—

1996年9月

国際協力事業団
研修事業部



1130929 [1]

序 文

第三国集団研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受け入れ、より現地事情に適した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には実施国が独自に研修員受入事業を実施できるよう協力することを目的としている。

本報告書は、1996年度(平成8年度)にメキシコ合衆国から要請のあった第三国集団研修「教育テレビ番組総合制作」について、その実施可能性を総合的に調査するため、平成8年8月5日から8月21日まで国際協力事業団がメキシコ合衆国に派遣した事前調査団の調査結果をとりまとめたものである。

メキシコは、これから中米・カリブ地域における南南協力の中心となっていく国であり、今後、第三国研修の案件数が増大する可能性が極めて高いと言える。そういった点からも、本報告書を通じ、関係者が第三国研修についての理解をより深め、同国における第三国研修のよりよい展開に資することができれば幸いである。

最後に、本調査団の実施に際し、ご協力を頂いた外務省、郵政省、日本放送協会、在メキシコ合衆国日本国大使館及びメキシコ合衆国の関係諸機関に対し、深甚な謝意を表す次第である。

平成8年9月

国際協力事業団
研修事業部長 森本 勝

教育テレビ研修センター
(CETE)の施設視察
(右より加藤団員、
松山メキシコ事務所所員、
三澤団長)



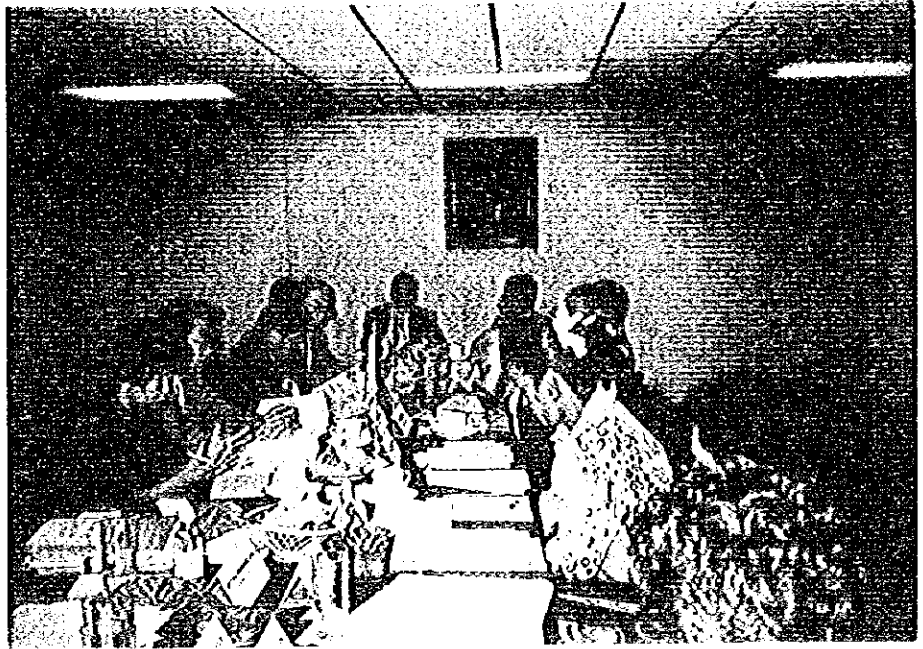
CETE職員から
機材運用状況等
について説明



CETE施設
(スタジオ)



CETEとの協議



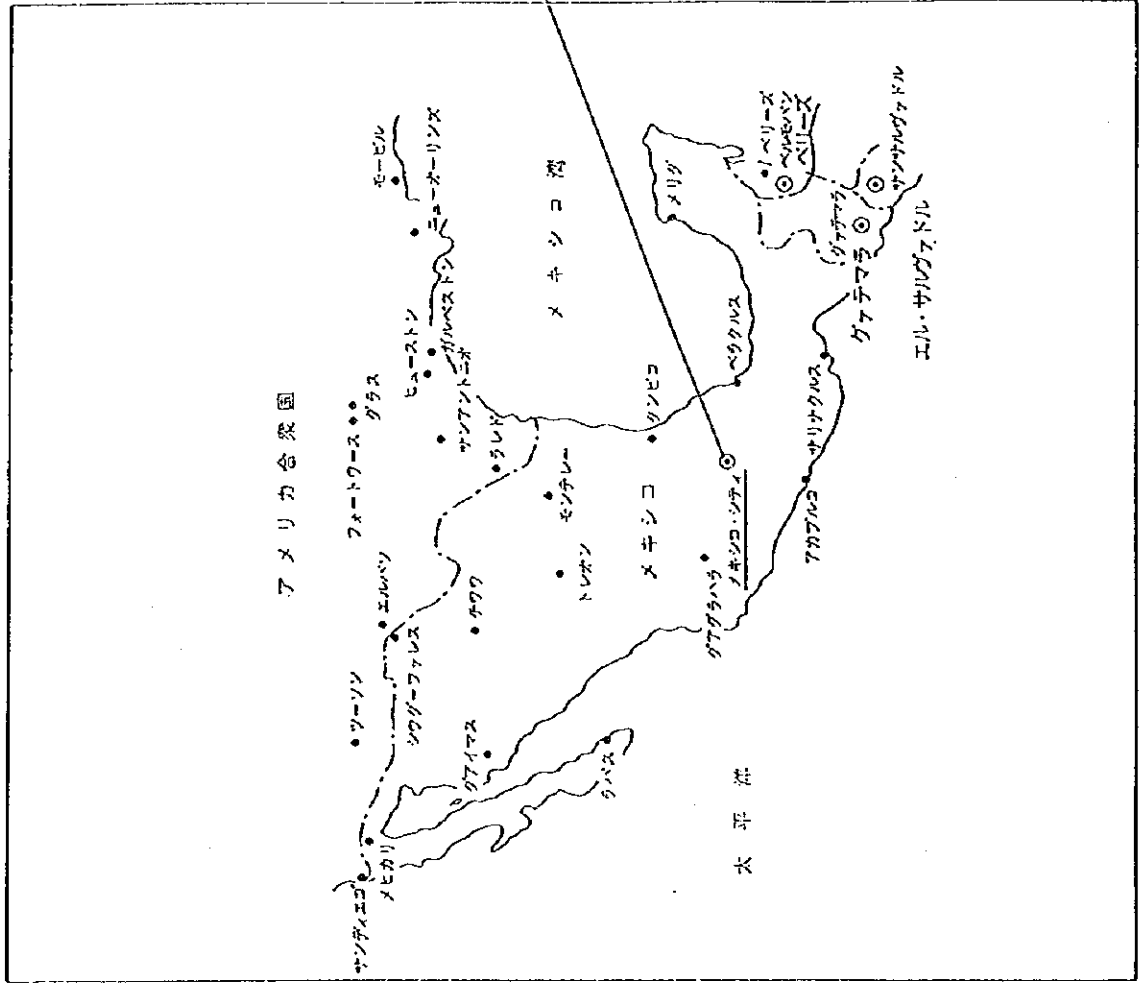
ミニッツ署名



ミニッツ締結



位 置 図



教育テレレビ研修センター (CETE)

要約

平成8年（1996年）、メキシコ合衆国政府は、教育テレビ番組制作分野の第三国集団研修の実施を我が国に対し、要請越した。

これを受けて、国際協力事業団は、同年8月5日～8月21日までメキシコ合衆国に事前調査団を派遣し、墨国側の要請背景・内容を確認し、墨国側及び墨国側関係機関であるUTE (Educational Television Unit)及びCETE(Educational Television Training Center)の研修実施体制の確認を行うとともに、第三国集団研修の実施基本方針の策定を行った。

墨国側関係機関と事前調査団の協議結果はミニッツに取りまとめられ、8月9日三澤団長と、UTEの所長Mr.Omar Chanona Burguete及びCETEの所長Mr.Gerardo Ojeda Castañedaとの間で署名交換された。

目 次

序	文	
写	真	
地	図	
要	約	
1.	事前調査団の派遣	1
1.1	派遣の経緯と目的	1
1.2	団員構成	1
1.3	調査日程	2
1.4	主要面談者	3
2.	要請の背景	4
2.1	研修実施国における当該分野の現状	4
2.2	周辺国のニーズ	4
3.	第三国集団研修基本計画にかかる協議結果	5
3.1	コース名	5
3.2	目的	5
3.3	到達目標	5
3.4	研修時期・協力期間	5
3.5	カリキュラム	5
3.6	割当国	5
3.7	定員	6
3.8	資格要件	6
3.9	経費負担	6
4.	第三国研修実施体制	7
4.1	実施機関の組織及び事業概要	7
4.2	実施機関の研修指導能力及び研修運営管理能力	7
4.3	実施機関の施設・建物・機材等	7
5.	関連する日本の他の技術協力	8
6.	日本側の協力	9
6.1	協力の目的と必要性	9
6.2	経費分担	9
6.3	日本人専門家派遣	9
6.4	NHKの今後の協力について	9
7.	団長所管	11
附属資料：	別添1. 英文調査ミニッツ(R/D案含む)	15
	別添2. 西文調査ミニッツ(R/D案含む)	37
	別添3. 事前調査 結果概要	59
	別添4. ロジカルフレームワーク	62
	別添5. 帰国報告会議事録	63
	別添6. メキシコ政府と中米各国政府との 「遠隔地教育」に関する協定(和訳)	68

1. 事前調査団の派遣

1. 1 派遣の経緯と目的

メキシコ政府は、教育の地域格差及び慢性的な教員不足に起因する教育の質の低下を是正するため、学校教育、幼児教育、成人教育、及び職業教育においてテレビ教育を活用することを重視している。しかし、いまだ番組制作技術及び放送技術が初歩的段階にとどまっており、教育効果を十分に発揮出来ない状況にあるため、メキシコ政府は我が国に対し、教育テレビ番組制作に関する技術協力を要請した。これを受けて、我が国はプロジェクト方式技術協力「教育テレビ研修センター」を1991年4月より1996年3月まで実施した。

本技術協力において蓄積された、教育テレビ番組制作に携わるプログラムディレクターや放送技術者等の技術を生かし、メキシコ政府は(1)テレビ番組制作技術の周辺国への移転促進、及び(2)周辺国における教育テレビ関連のディレクターや技術者等の育成を目的として、中米・カリブ諸国を対象とする第三国集団研修の実施を我が国に要請越した。

本調査においては以上の経緯を踏まえ、研修計画の詳細を先方と協議し、関係の調査を行うことにより、本件第三国集団研修実施計画のとりまとめを行った。

1. 2 団員構成

団長／総括	三澤 吉孝	国際協力事業団	筑波国際センター研修第一課長
番組制作	加藤 正憲	日本放送協会	国際放送局国際企画部 副部長
研修計画	竹本 啓一	国際協力事業団	研修事業部研修第二課 職員

1. 3 調査日程

(本調査団は、前半に「教育テレビ番組総合制作」の事前調査を行い、後半にもう一件の第三国集団研修「海運経営・港湾管理講座」の事前調査を行った。)

日 付	行 程	調査内容
8 / 5 (月)	(三澤団長、加藤団員、 竹本団員) 成田 (☒ JL 012) ⇒メキシコシティ	(三澤団長、加藤団員、竹本団員 移 動)
6 (火)		文部省表敬 日本大使館表敬 J I C A事務所打ち合わせ 外務省科学技術協力局表敬
7 (水)		文部省番組制作局 (UTE) 表敬 教育テレビ研修センター (CETE) 視察
8 (木)		メキシコ側との協議、M / M案作成
9 (金)		M / M署名・交換
10 (土)		資料整理、団内打ち合わせ
11 (日)	(加藤団員) メキシコシティ (☒ MX 900) ⇒LA (☒ JL061) ⇒成田 (12日着)	(加藤団員 帰国)
12 (月) } 15 (木)		「海運経営・港湾管理講座」 事前調査
16 (金)		外務省科学技術協力局報告 日本大使館報告 J I C A事務所報告
17 (土)		資料整理・団内打ち合わせ
18 (日)		
19 (月)		最終団内打ち合わせ
20 (火)	(三澤団長、竹本団員) メキシコシティ (☒ JL 011) ⇒成田	(三澤団長、竹本団員 帰国)
21 (水)		

1. 4 主要面談者

Ministry of Foreign Affairs

MS. CRISTINA RUIZ RUIZ

Director, Demanda de Cooperacion Tecnica,
Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica
MR.FERAIN DEL ANGEL RAMIREZ Subdirector, Demanda de Cooperacion Tecnica,
Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica
MS.MONICA BARAJAS CEDILLO Staff, Demanda de Cooperacion Tecnica,
Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica

Ministry of Public Education

MR. JAIME H. TALANCON ESCOBEDO Oficial Mayor

Educational Television Unit (UTE)

MR. OMAR CHANONA BURGETE Director General

Educational Television Training Center (CETE)

DR. GERARDO OJEDA CASTANEDA Director General
MR.FEDERICO DEL VALLE OSORIO Training Services Subdirector
MR.HELIOS GOMEZ PINZON Technical Subdirector
MS.ALMA GABRIELA NERY PEGO Academic Subdirector
MR.ATURO SANTAMARIA ALDANA Production Engineering Counterpart
MR.MARCO ANTONIO GARCIA HOLM Production Engineering Counterpart
MR.JAIME MORALES REYES Production Engineering Counterpart
MR.OSCAR HERRA MORA Production Engineering Counterpart
MR.NEFTALI PENAFLOL VALDEZ Production Counterpart
MR.LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ Production Counterpart
MR.NESTOR ANTONIO RODRIGUEZ
GARACIA Production Counterpart
MR.JORGE OJANGUREN ROMERO Chief of the Teaching Materials Department
MS.RAQUEL GOMEZ SANCHEZ Translator

メキシコ自治大学(UNAM)

MS.GUADALUPE FERRER ANDRADE Director General, TV UNAM

在墨日本国大使館

渡辺 卓実

二等書記官

JICAメキシコ事務所

木下 建

所長

松山 博文

所員

(日西通訳： 八木 優子)

2. 要請の背景

2.1 研修実施国における当該分野の現状

メキシコ全体としてのテレビ番組制作能力は一定以上の水準にある。特に商業放送局のテレビサ、TVアステカなどは、メキシコ外のスペイン語圏に番組を提供している程であり、これら民放グループの制作能力が教育テレビ番組制作に振り向けられるならば、十分に機能するだけの潜在的パワーをメキシコは持っている。

教育テレビ番組の性格上、公共放送局(UTEおよびCETE)が番組制作の中心にならざるを得ないが、上述したメキシコの現状と5年間に渡るUTE、同じく5年間に渡るCETEへのプロジェクト技術協力によって、公共放送局における制作能力も一定以上の水準に至っている。

2.2 周辺国のニーズ

中米のスペイン語圏を中心とした国・地域よりの、教育テレビ番組制作に対する研修の要望はかなり強いと考えられる。

メキシコを含め周辺国では、教育の重要性に対する認識がますます深まり、都市部と周縁地域での教育環境の格差の是正が大きな問題となっている。十分な教育施設が無い周縁部においては、テレビ放送を通じて教育を施そうとする機運が高まっている。そのためのソフト(教育テレビ番組)を自分たちで制作する技術の獲得は重要であり、第三国研修受講へのニーズは高いと考えられる。

3. 第三国集団研修基本計画にかかる協議結果^註

3. 1 コース名

英文名称：International Training Course on Integral Production of Educational Television Programs

和文名称：教育テレビ番組総合制作

3. 2 目的

中米・カリブ諸国からの参加者に対し、教育テレビ番組制作分野に関する知識・技術を向上させる機会を提供することを主目的とする。

3. 3 到達目標（第1～3ステージの詳細については、3. 5カリキュラム参照）

- (1) コース全体：教育テレビ番組の制作過程における専門的技術を修得する。
- (2) 第1ステージ：プロジェクトデザインや脚本制作を通じ、教育テレビ番組制作について理解する。
- (3) 第2ステージ：分析的姿勢を持ちつつ、放送技術の修得を行う。
- (4) 第3ステージ：上記2ステージを踏まえ、質の高い教育番組を制作する資質を高める。

3. 4 研修時期・協力期間

第一回目：1997年7月7日から8月29日（8週間）
協力期間：1997年度から2001年度（5年間）

3. 5 カリキュラム

要請のあったカリキュラム内容について、担当講師、研修の運営の仕方等について、メキシコ側に確認したところ（細かい点では楽観的なところが散見されたが）、教育テレビ研修センター(CETE)所長であるオヘダ氏が直接、講師として加っており、技術協力時代に育成されたカウンターパートを中心として、CETEのスタッフが責任を持ってコース運営・実施に携わる旨の詳細な説明がなされたため、基本的にメキシコ側要請のとおりの実施で問題なしとした。

なお、詳細については、別添R/D（案）ANNEX I "TENTATIVE CURRICULUM"を参照のこと。

3. 6 割当国

中米・カリブ12カ国（ベリーズ、コスタ・リカ、エル・サルヴァドル、グアテマラ、ホンデュラス、ジャマイカ、ニカラグア、ハイティ、パナマ、サンタ・ルシア、トリニダード・トバゴ、ドミニカ共和国）

（補足）

キューバ及びプエルトリコの割当について、メキシコ側より強い要請があったが、以下の理由により、とりあえず、ペンディングとし、調査団が日本に持ち帰り、外

^註 要請内容との相違については、添付資料「3. 事前調査結果概要」を参照のこと

務本省の判断を仰ぐこととした。

(1) キューバへの新規の割当は日本の外交政策上、余り好ましくない。

(2) プエルトリコはDACリストに含まれていない(同地域のような独立国でない地域への研修員の割当は、香港等、実績はあるが、いずれの場合もDACリストに含まれている)。

3. 7 定員

14名

内訳 周辺国：12名(原則的に各国に1名を割り当てる)
実施国：2名

3. 8 資格要件

1) プロデューサー

- ・職歴：2年以上
- ・学歴：コミュニケーション・教育分野で大学卒業以上
- ・前提となる素養：番組制作、視聴覚コミュニケーション、音声・照明・カメラ・ビデオ録画

2) 放送技術者

- ・職歴：2年以上
- ・学歴：高校卒業以上
- ・対象となる技術分野：カメラ、照明、編集、音声技術

3) 両者共通

- ・決められた手続きに従い、割当国の外務省を通じて推薦された者
- ・教育テレビ放送事業に従事している者
- ・35歳以下
- ・スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者
- ・心身ともに健康な者

3. 9 経費負担

次の点を考慮して、メキシコ側要請の日本側経費負担案について協議し、最終的には、別添R/D(案) ANNEX IV "TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES" の形でまとまった。

- (1) 最終的な定員及び研修期間に基づき、受入諸費等を決定する。
- (2) 「その他」については、詳細が不明なため、削除する。
- (3) 会議費は基準一杯認める。
- (4) 実習費は詳細な明細に基づき、協議する。

なお、メキシコ側より強い希望があったため、異例ではあるが、ANNEX III "TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES" として、メキシコ側経費分担も添付した。

4. 第三国研修実施体制

4.1 実施機関の組織および事業概要

CETEはメキシコ文部省の教育番組制作局(UTE)に属する教育テレビ研修センターであり、現政権になってからの教育重視政策にともない事業基盤も更に安定しているようである。

今回の第三国研修とは別に、CETE独自で周辺国に対する教育テレビ番組制作の初級研修コースも実施する計画があり、事業体制は整っていると考えられる。

4.2 実施機関の研修指導能力及び研修運営管理能力

5年間のプロジェクト技術協力により、演出・制作技術の指導技術及び運営管理に重要な総務業務について、NHKの専門家からの技術移転は完了している。また、カウンターパートも全員CETEに定着しており、彼ら独自で第三国研修を実施する能力を充分有している。

4.3 実施機関の施設・建物・機材等

プロジェクト技術協力によって供与された機材等は、彼ら独自のメンテナンスによって完全に機能している。また、施設・建物についても十分な管理が行き届いている。

5. 関連する日本の他の技術協力

・プロジェクト方式技術協力

協力の実績は以下のとおり^{※2}。

- 1) 案件名 : 教育テレビ研修センター
- 2) 協力期間 : 1991年4月より1996年3月(5年間)
- 3) 専門家派遣 : 長期専門家10名、短期専門家35名
- 4) C/P研修員受入 : 19名
- 5) 機材供与 : 6億55百万円

(上記3から5は、協力期間を通じての合計)

^{※2}詳細については、「メキシコ合衆国 教育テレビ研修センター 終了時評価報告書」(社会開発協力部、1995年12月。社協二 JR 95-025)を参照のこと。

6. 日本側の協力

6.1 協力の目的と必要性

わが国がメキシコ教育テレビ研修センターに対して行った技術協力の成果を活用し、中米・カリブ諸国から参加する放送プロデューサー及び放送技術者に対し、番組制作分野の研修及び各技術分野の研修を実施し、その上で実際に教育番組の制作を体験させることで、より質の高い教育テレビ番組を制作するための総合的な知識及び技術を修得させることを目的とする。

6.2 経費分担

メキシコ側は、本コース実施の時期には他のコース実施を見合わせるという程に、本件第三国研修を非常に重視している。こうした背景から、メキシコ側はメキシコ側の取り組み振りをより明確にしたいと考えており、今回のミニッツ作成に際しても、メキシコ側負担経費を日本側負担経費と同様にR/D案に添付したいとの強い要望があった。検討の結果、異例ではあるが、今回のR/D案にはメキシコ側負担経費と日本側負担経費を併せて添付することとした。

6.3 日本人専門家派遣

NHKはメキシコに対して、1985～1991年のUTE(現在のUTE)への技術協力、1991～1996年のCETEへのプロジェクト技術協力に参画してきた。この間、長期専門家延べ11名、短期専門家30名以上を投入し、これら専門家の努力により当初の目標を十分に達成したと認識している。

そのため、プロジェクト終了後に引き続き第三国集団研修については、メキシコ側独自で遂行できると予想しており、引き続いての専門家派遣の必要はないと判断している。

こうした判断を持ってメキシコ側と協議に臨み、第三国研修カリキュラム・予算計画等について、メキシコ側に十分な説明を求めた。この結果、メキシコ側が日本人専門家に求めている事はオブザーバーとしての参加が主であり、カリキュラムの講師はメキシコ側のカウンターパートおよびCETE所長自身が行うことが明確になった。こうした状況からも、メキシコ側独自で第三国研修を遂行できる予測がついた。

協議の後、メキシコ側に対し専門家派遣をしないことを再度説明し、十分な理解を得ることができた。

6.4 NHKの今後の協力について

もとよりODAに伴う専門家派遣計画は、日本政府が立案決定するものであり、NHKとしても、その意向に最大限協力して行く姿勢に変わりはない。しかし近年、NHKにおける要因状況逼迫の中で、一定以上の専門家派遣要請に対応することは、かなり困難な状況にある。第4章に述べているように、CETEプロジェクト技術協力については、終了時までには技術移転を完全に完了させ、NHKとしてのメキシコへの技術協力を一段落させたいとの考えを持っている。

第三国研修の第1階は1997年夏にメキシコ独自によって実施することになるが、当然運営上の問題点・反省点が出てくることが予想される。これらの諸問題についてメキシコから要請があれば、専門家経験者からのアドバイスを書面で送るなどして、第2回以降の研修実施に役立つ体制を取りたい。

こうした形を取ることでカウンターパートに責任感を持たせることができ、また彼ら自身の一定の身分保障にもなると期待される。

この3月に終了したプロジェクト技術協力のアフターケアのための短期専門家派遣が予定されると思うが、その派遣時期を第2回目の第三国研修(1998年夏)に合わせることにより、メキシコ独自による第三国研修遂行を検証した上で、3回以降の研修遂行を強化するための指導が可能となり、効果的だと思われる。

7. 団長所管

1. 本案件は、小生がメキシコ事務所在勤時(1988~90)において、日本側の協力が本格化しだした案件である。「教育テレビ研修センター」は、NHKからの派遣による「個別専門家」により実施されていた案件であり、91年にプロ技がスタートして96年3月終了と同時に「第三国研修」に結びついたことは非常に喜ばしいことである。又、その調査団の団長という任務に就いたことは感慨深いものがある。
2. 「教育テレビ番組総合制作」に関しては、当初日本出発前にメキシコ側から出ている案に対し、日本側(NHK)からとても6週間で実施できる内容ではなく、その調整が懸念された。UTE、CETEがなぜ「教育学」のカリキュラムを重視するのか、当初の憶測では、CETEの校長のキャリアから、「教育学」に対する熱意からきているのではないかと危惧されたが、全くその個人的なレベルではなかったことが判明した。
3. それは、全く当方も又JICAメキシコ事務所も詳細を把握していなかったことであるが、メキシコ政府が独自に、中米との「遠隔地教育協定」に基づき、96年12月より研修を実施するということであった。これは96年4月25日、メキシコとパナマ他6ヶ国(コスタリカ、ニカラグア、ホンデュラス、グアテマラ、エルサルヴァドル、ベリーズ)と「遠隔地教育協定」(別添参照)を結んだ。その目的は「テレビ中学校モデルを作成するための教師、並びに新しい教育技術の使用のために技術者の養成」をすることである。これらを目的としてメキシコ側が独自にコースを開設することになり、96年12月よりメキシコ側により実施することになった。
4. このメキシコ側が独自に実施するコースと「第三国研修」との相違は何か、当初戸惑いが当方の調査団にあったが、「遠隔地研修」はテレビカメラマン、照明等の初級者技術者を対象としていること、又、JICAコースはアドバンスコースとして位置付けられ、中・上級者を対象とすることであり、内容も「プロデューサー」と「技術者」による別々の研修から最後は協力して「番組を作成」するコースにすることにより、「教育番組制作者」の育成をすることとなる。
また、当初、日本側が危惧していた「教育学」の講義については、CETEの所長が自ら行うということで「教育学を知らずして教育番組は成り立たないこと」又、それは教育に関する「遠隔地域協定」を結んだことによりメキシコはより責任を持って中米各国に対する協力をしていくことに結びつく。
5. 当時を知るものにとって、今回のCETEの対応は非常に組織的な対応と受け止めることができ、「組織力」を感じる。「組織力」すなわち「人材」と「適格な指示、命令」である。これはプロ技の技術協力の一理としての、C/P研修によりC/Pが「人材」として育成された結果であると判断される。それ故に、第三国研修を実施するに際し、十分な体制が整っていると判断できる。
6. 懸念事項等
 - イ. 割当国について、是非キューバとプエルトリコを追加して欲しい旨要請があり、後者はDACリスト外ということであるがメキシコと両国との友好関係を考えると前向きに検討する価値はある。
 - ロ. メキシコが独自に実施するコースと第三国研修への参加に関し、参加国の混乱が生じないようにメキシコ側の努力(広報、宣伝)が必要と思われる。
 - ハ. SETEの所長より、第三国研修の実施に関し、その実施後の評価についてどうするか(メキシコ側にとって何かペーパーが必要)との提案があったが、これについては、実施後、JICAメキシコ事務所と「反省会」を実施し議事録を残すことを双方に提案した。

7. メキシコは1995年にOECDに加盟して、被援助国から援助国への移行を宣言したのであるが、現状では1995年の為替の下落により通貨危機が叫ばれ、援助する予算措置はされていない。

外務省訪問時、クリスティーナ ルイス部長(科学技術協力局、技術協力部要請課)との意見交換においても、協力するための独自の予算措置はなく、当国は日本との「第三国研修」のスキームを活用し、またUNDPからの補助金等により「協力する側」としても実施していかざるを得ないのが現状であろう。

参考：CONAPO(国家人口審議会)では「国連人口基金」からの援助額は、97年から始まる5ヶ年プログラムにおいては前回の半額になるとのこと。

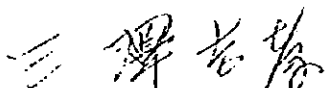
附 属 資 料

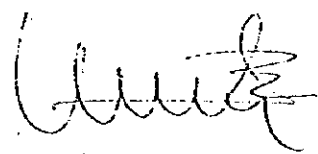
- 別添1. 英文調査ミニッツ(R/D案含む)
- 別添2. 西文調査ミニッツ(R/D案含む)
- 別添3. 事前調査結果概要
- 別添4. ロジカルフレームワーク
- 別添5. 帰国報告会議事録
- 別添6. メキシコ政府と中米各国政府との
「遠隔地教育」に関する協定(和訳)


THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE UNITED MEXICAN STATES
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. The Japanese preliminary survey team (hereinafter referred to as "The Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshitaka Misawa, visited the United Mexican States from August 5th to August 20th 1996, in order to discuss with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States a training course for participants from Central American and Caribbean countries in the field of Production of Educational Television Programs, considered to be implemented in the United Mexican States under JICA's Third Country Training Programme.
2. The Team conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States regarding the course.
3. Both sides came to share the view that the course will contribute to the development of the Production of Educational Television Programs in Central American and Caribbean countries.
4. Both sides drafted the Record of Discussions attached as APPENDIX 1, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made for elaborating it in order to ensure the successful implementation of the course.
5. With respect to the invited countries (APPENDIX I, Attached Document 6), the Mexican authorities concerned requested that Cuba and Puerto Rico should be also invited to apply for the course, because of the Mexican International Policy. The Team promised to convey the request to the authorities concerned of the Government of Japan.
6. A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX 2.
7. Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Mexico City, August 9th, 1996


Mr. Yoshitaka Misawa
Head of the Japanese
Preliminary Survey Team
JICA


Mr. Omar Chanona Burguete
General Director of Educational Television Unit,
Ministry of Public Education


Mr. Gerardo Ojeda Castañeda
Director of Educational Television Training Center,
Educational Television Unit,
Ministry of Public Education

(DRAFT)

APPENDIX I

**THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF THE JICA MEXICO OFFICE AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE UNITED MEXICAN STATES
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME**

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshitaka Misawa, visited the United Mexican States from August 5th to August 20th, 1996 and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States with respect to the framework of a training course in the field of Production of Educational Television Programs under JICA's Third Country Training Programme, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the above discussions, the Resident Representative of the JICA Mexico Office and the authorities concerned of the Government of the United Mexican States agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Mexico City, September , 1996

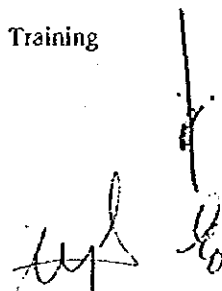
Mr. Ken Kinoshita
Resident Representative,
JICA Mexico Office

Mr. Jaime Hugo Talancón Escobedo
Chief Financial Officer
Ministry of Public Education

Mr. Guillermo Kelley Salinas
General Coordinator,
Administrative Modernization of Education
Ministry of Public Education

Mr. Omar Chanona Burguete
General Director of Educational Television
Unit,
Ministry of Public Education

Mr. Gerardo Ojeda Castañeda
Director of Educational Television Training
Center,
Educational Television Unit,
Ministry of Public Education



ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the United Mexican States will cooperate with each other in organizing a training course in the field of Production of Educational Television Programs (hereinafter referred to as "the Course") at Educational Television Training Center (hereinafter referred to as "CETE") under JICA's Third Country Training Program.

The Government of the United Mexican States will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from Japanese fiscal year (hereinafter referred to as "JFY") 1997 to JFY 2001, subject to annual consultations between both Governments.

The Course will be conducted in accordance with the following.

1. TITLE

The Course will be entitled "International Training Course on Integral Production of Educational Television Programs".

2. PURPOSE

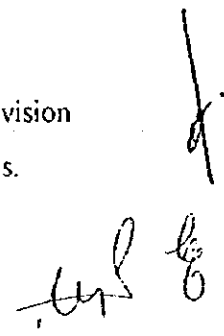
The purpose of the Course is to provide the participants from Central American and Caribbean countries with an opportunity to improve their knowledge and techniques in the field of Production of Educational Television Programs.

3. OBJECTIVES

3-1 GENERAL OBJECTIVE

The participants (producers and technical staff) are expected to:

Fulfill professional practices of the production process of Educational Television Programs, from their planning to the total culmination of good quality programs.

Handwritten signatures and initials in the bottom right corner of the page. There are two distinct signatures, one appearing to be 'L. S.' and another one below it.

3-2 OBJECTIVE OF THE FIRST STAGE

The participants (producers) are expected to:

- Enrich the knowledge of the production process of the Educational Television Programs, taking into consideration pedagogic basis, projects design, script writing, narrative and production systems, after the conceptual analysis and the practice from an integral point of view.

3-3 OBJECTIVE OF THE SECOND STAGE

The participants (technical staff) are expected to:

- Generate an analytical attitude with regard to the production in a group within the working process as an essential part of the communication through image and sound.
- Identify the most common mistakes during the production.
- Operate the production equipment (camera, lighting, audio and edition) in a proper way in order to obtain an effective communication with aesthetic pictures.

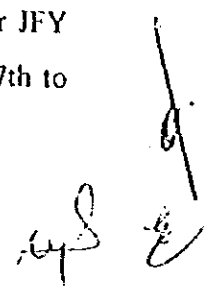
3-4 OBJECTIVE OF THE THIRD STAGE

The participants (producers and technical staff) are expected to:

Generate an integral production process of good quality Educational Television Programs by combining production and production engineering aspects.

4. DURATION

The duration of the Course will be approximately eight (8) weeks and the Course for JFY 1997 (hereinafter referred to as "the first Course") is planned to be held from July 7th to August 29th, 1997.

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

5. CURRICULUM

The Course is composed of three stages according to the features of the production process. Tentative curriculum and the structure of the first Course are attached as Annex 1.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following 12 countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s):

Belize, Costa Rica, Dominican Republic, El Salvador, Guatemala, Honduras, Haiti, Jamaica, Nicaragua, Panama, Santa Lucia, Trinidad and Tobago.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

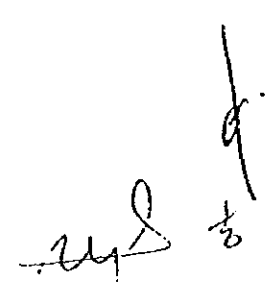
The number of participants from the invited countries shall not exceed twelve (12) in total. And the number of participants from the United Mexican States shall not exceed two (2).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

For both areas (producers and technical staff)

Applicants for the Course are:

- 8-1 To be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below.
- 8-2 Personnel working in the educational television broadcasting in their respective countries.
- 8-3 To be under thirty five (35) years old.
- 8-4 To have sufficient command of spoken and written Spanish.
- 8-5 To be in good health, both physically and mentally, in order to complete the Course.

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

Producers' profile

8-6 To be university graduates in the field of communications or education; with at least two years of experience in the field and basic knowledge of:

- production process
- audiovisual communication
- audio, lighting, camera and VTR techniques

They will participate in the first and third stages.

Technical staff's profile

8-7 To be university graduates or high school graduates: cameramen, lighting operators, editors, audio operators with at least two years of experience and wide knowledge of their respective areas.

They will participate in the second and third stages.

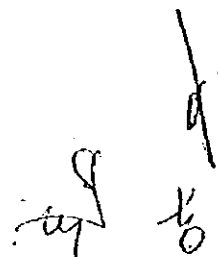
9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be conducted at CETE, Ministry of Public Education.

10. APPLICATIONS PROCEDURE

10-1 A Government applying for the Course on behalf of its nominee (s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the United Mexican States through diplomatic channels not later than ninety (90) days before the commencement of the Course.

10-2 The Government of the United Mexican States will inform the applying Governments through its diplomatic channels, whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than forty (40) days before the commencement of the Course.



11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

The schedule of the first Course implementation is attached as Annex 2.

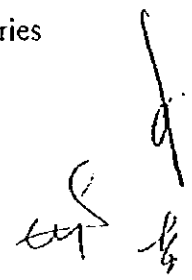
11.1 The Government of the United Mexican States

11.1.1 Ministry of Foreign Affairs and Ministry of Public Education

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of invited countries through diplomatic channels.
- (2) To receive application forms and forward them to CETE.
- (3) To notify the results of the selection of participants to the respective Governments through diplomatic channels.

11.1.2 CETE

- (1) To formulate the curriculum based on Annex 1.
- (2) To draft and print the G.I.
- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course.
- (4) To provide its training facilities and equipment for the Course.
- (5) To select participants for the Course and notify the Ministry of Foreign Affairs of the United Mexican States and the JICA Office in Mexico (hereinafter referred to as "the JICA Office") of the results.
- (6) To arrange accommodation for participants.
- (7) To arrange international air tickets for the participants from invited countries and to meet and see them off at the airport.
- (8) To arrange domestic study tour (s) as a part of the Course.



- (9) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the Course, excluding the expenses financed by the Government of Japan (a tentative estimate of expenses for the first Course is attached as Annex 3).
- (10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course.
- (11) To submit a course report to the JICA Office within thirty (30) days after the termination of the Course.
- (12) To submit a statement of expenditure with the receipt and other documentary evidence necessary to verify the expenditure stated above within thirty (30) days after the termination of the Course.
- (13) To coordinate any matters related to the Course.

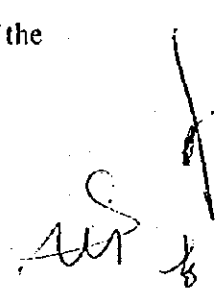
11-2 The Government of Japan

- (1) To bear the following expenses through JICA (a tentative estimate of expenses for the first Course is attached as Annex 4):
 - A) Expenses relevant to participants from invited countries such as international economy-class air fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.
 - B) Expenses relevant to CETE such as textbooks, expendable supplies, G.I. printing, and honoraria for external lecturer (s).

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance of funds for expenses to be borne by the Government of Japan and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures:

- 12-1 CETE will open a bank account in the United Mexican States to receive the funds remitted by JICA, and inform to JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.

Handwritten signature and initials, possibly 'AS' and 'S', with a vertical line to the right.

- 12-2 CETE will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
- 12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.
- 12-4 CETE will submit to the JICA Office a statement of expenditure within thirty (30) days after the termination of the Course.
- 12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, CETE will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the advice given by JICA. The funds allocated for the air fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.
- 12-6 When requested by JICA, CETE will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditures stated in 12-4 above.

13. OTHERS

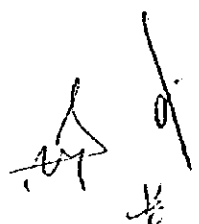
This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions:

Annex 1: Tentative curriculum and the structure of the Course (for JFY 1997)

Annex 2: Schedule of Course implementation (for JFY 1997)

Annex 3: Tentative estimate of expenses to be borne by the Government of the United Mexican States (for Mexican Fiscal Year 1997)

Annex 4: Tentative estimate of expenses to be borne by the Government of Japan (for JFY 1997)



ANNEX 1

COURSE STRUCTURE:

THE COURSE IS COMPOSED OF THREE STAGES ACCORDING TO THE FEATURES OF THE PRODUCTION PROCESS:

- FIRST STAGE PRODUCTION OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS. 5 WEEKS= FOR PRODUCERS
 - SECOND STAGE PRODUCTION ENGINEERING OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS. 3 WEEKS= FOR TECHNICAL STAFF
 - THIRD STAGE INTEGRAL PRODUCTION OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS 3 WEEKS = FOR BOTH PRODUCERS AND TECHNICAL STAFF
- TOTAL: 8 WEEKS

WORKING PERIODS FOR EACH STAGE

STAGE	WEEKS							
	1a.	2a.	3a.	4a.	5a.	6a.	7a.	8a.
1st	PRODUCTION OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS.							
2nd	PRODUCTION ENGINEERING OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS							
3rd	INTEGRAL PRODUCTION OF EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMS.							

SCHEDULE

FIRST AND SECOND STAGE:
 OPENING CEREMONY FOR THE FIRST STAGE: JULY, 7TH
 OPENING CEREMONY FOR THE SECOND STAGE: JULY, 21TH
 MONDAY TO FRIDAY FROM 10:00 TO 18:00 HRS.
 SATURDAY OF THE 5TH WEEK FROM 10:00 TO 14:00 HRS.

THIRD STAGE:
 MONDAY TO FRIDAY FROM 10:00 TO 18:00 HRS.
 SATURDAY FROM 10:00 TO 14:00 HRS.
 BOTH GROUPS WILL START WORKING TOGETHER FROM THE 6TH WEEK.. (THIRD STAGE)
 CLOSING CEREMONY: AUGUST, 29TH

TENTATIVE CURRICULUM FOR JFY 1997

FIRST STAGE

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
1st WEEK	OPENING CEREMONY HISTORY OF THE EDUCATIONAL TELEVISION IN: MEXICO JAPAN COUNTRY REPORT	HISTORY OF THE EDUCATIONAL TELEVISION IN: MEXICO JAPAN COUNTRY REPORT	PRODUCTION PROCESS OF THE EDUCATIONAL TELEVISION IN MEXICO, JAPAN AND INVITED COUNTRIES	PRODUCTION PROCESS OF THE EDUCATIONAL TELEVISION IN MEXICO, JAPAN AND INVITED COUNTRIES	EDUCATIVE USAGE OF THE TELEVISION
2nd WEEK	AUDIOVISUAL LANGUAGES	AUDIOVISUAL LANGUAGES	AUDIOVISUAL LANGUAGES	AUDIOVISUAL LANGUAGES	AUDIOVISUAL LANGUAGES
3rd WEEK	PEDAGOGIC BASIS FOR EDUCATIONAL TELEVISION	PEDAGOGIC BASIS FOR EDUCATIONAL TELEVISION	PEDAGOGIC BASIS FOR EDUCATIONAL TELEVISION	PEDAGOGIC BASIS FOR EDUCATIONAL TELEVISION	PEDAGOGIC BASIS FOR EDUCATIONAL TELEVISION
4th WEEK	PROJECT DESIGN WORKSHOP	PROJECT DESIGN WORKSHOP	PROJECT DESIGN WORKSHOP	PROJECT DESIGN WORKSHOP	PROJECT DESIGN WORKSHOP
5th WEEK	SCRIPT WRITING WORKSHOP	SCRIPT WRITING WORKSHOP	SCRIPT WRITING WORKSHOP	SCRIPT WRITING WORKSHOP	SCRIPT WRITING WORKSHOP

* SATURDAY OF THE 5th WEEK: INTEGRAL PRODUCTION MEETING FOR THE FIRST WEEK OF THE THIRD STAGE.

Handwritten signatures and initials.

SECOND STAGE (1/3)

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
1st WEEK	<ul style="list-style-type: none"> -OPENING CEREMONY (FOUR AREAS) -COUNTRY REPORT -PRODUCTION PROCESS I -PRODUCTION PROCESS OF EDUCATIONAL TELEVISION IN MEXICO AND NHK 	<ul style="list-style-type: none"> -PRODUCTION PROCESS II INVITED COUNTRIES -AUDIOVISUAL LANGUAGES 	<ul style="list-style-type: none"> CAMERA: <ul style="list-style-type: none"> -OPTICAL SYSTEMS FOR TELEVISION LIGHTING: <ul style="list-style-type: none"> -BASIC LIGHTING -LIGHTING EQUIPMENT OPERATION AUDIO: <ul style="list-style-type: none"> -SENSITIZATION -AUDIO GENERAL THEORY EDITING: <ul style="list-style-type: none"> -BASIS OF THE TELEVISION SIGNAL 	<ul style="list-style-type: none"> CAMERA: <ul style="list-style-type: none"> -CAMERA OPERATION AND ITS EXPRESSION LIGHTING: <ul style="list-style-type: none"> -BASIC LIGHTING FOR ONE PERSON AUDIO: <ul style="list-style-type: none"> -AUDIO GENERAL THEORY EDITING: <ul style="list-style-type: none"> -TECHNICAL BASIS FOR EDITING I 	<ul style="list-style-type: none"> CAMERA: <ul style="list-style-type: none"> -COMPOSITION OF MOVING PICTURES LIGHTING: <ul style="list-style-type: none"> -LIGHTING FOR INTERVIEWING PROGRAMS AUDIO: <ul style="list-style-type: none"> -WORK OF THE PRODUCTION ENGINEERING AREA EDITING: <ul style="list-style-type: none"> -TECHNICAL BASIS FOR EDITING II

Handwritten signatures and initials.

SECOND STAGE (2/3)

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
2nd WEEK	<p>CAMERA: -CAMERA OPERATION AND ITS EXPRESSION</p> <p>LIGHTING: -LIGHTING FOR GROUPS</p> <p>AUDIO: -GUIDELINE FOR WORKING IN STUDIO</p> <p>EDITING: -EDITING -FIRST PRACTICE (COMMERCIAL)</p>	<p>CAMERA: -SPACE/TIME CONTINUITY ELEMENTS OF A SEQUENCE</p> <p>LIGHTING: -LIGHTING FOR OPEN AREAS</p> <p>AUDIO: - OPERATIVE THEORY OF THE STUDIO EQUIPMENT - MICROPHONES</p> <p>EDITING: -SECOND PRACTICE (CONTINUITY)</p>	<p>CAMERA: -RECORDING ON LOCATION</p> <p>LIGHTING: - LIGHTING FOR INTERVIEW PROGRAMS</p> <p>AUDIO: PRACTICE DEVELOPMENT IN STUDIO</p> <p>EDITING: -THIRD PRACTICE (SUB-AQUATIC CAMERA)</p>	<p>CAMERA: CAMERA OPERATION IN STUDIO</p> <p>LIGHTING: - LIGHTING FOR DRAMA PROGRAMS</p> <p>AUDIO: -GUIDELINE FOR WORKING ON LOCATION</p> <p>EDITING: - THE SWITCHER</p>	<p>CAMERA: -RECORDING IN STUDIO.</p> <p>LIGHTING: - LIGHTING FOR MUSICAL PROGRAMS</p> <p>AUDIO: - PRACTICE DEVELOPMENT</p> <p>EDITING: - SWITCHING PRACTICE</p>

[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

SECOND STAGE (3/3)

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
3rd WEEK	PRODUCTION ENGINEERING WORK IN EDUCATIVE PROGRAMS OF DIFFERENT GENRE	PRODUCTION ENGINEERING WORK IN EDUCATIVE PROGRAMS OF DIFFERENT GENRE	PRACTICAL APPLICATION OF PRODUCTION ENGINEERING WORK IN EDUCATIVE PROGRAMS OF DIFFERENT GENRE (RECORDING)	PRACTICAL APPLICATION OF PRODUCTION ENGINEERING WORK IN EDUCATIVE PROGRAMS OF DIFFERENT GENRE (RECORDING)	PRACTICAL APPLICATION OF PRODUCTION ENGINEERING WORK IN EDUCATIVE PROGRAMS OF DIFFERENT GENRE (RECORDING)

* SATURDAY OF THE 3rd WEEK: INTEGRAL PRODUCTION MEETING FOR THE FIRST WEEK OF THE THIRD STAGE.

THIRD STAGE

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
1st WEEK	VIDEO CAPSULES PRODUCTION	VIDEO CAPSULES PRODUCTION	EDUCATIONAL PROGRAM PRODUCTION	EDUCATIONAL PROGRAM PRODUCTION	EDUCATIONAL PROGRAM PRODUCTION - EVALUATION	INTEGRAL PRODUCTION MEETING FOR SECOND WEEK
2nd WEEK	MUSICAL EDUCATION PROGRAM PRODUCTION	MUSICAL EDUCATION PROGRAM PRODUCTION	MUSICAL EDUCATION PROGRAM PRODUCTION	MUSICAL EDUCATION PROGRAM PRODUCTION	MUSICAL EDUCATION PROGRAM PRODUCTION - EVALUATION	INTEGRAL PRODUCTION MEETING FOR THIRD WEEK
3rd WEEK	DRAMA PROGRAM PRODUCTION	DRAMA PROGRAM PRODUCTION	DRAMA PROGRAM PRODUCTION	DRAMA PROGRAM PRODUCTION	DRAMA PROGRAM PRODUCTION - EVALUATION - CLOSING CEREMONY	

[Handwritten signatures and initials]

LIST OF INSTRUCTORS FOR JFY 1997

COUNTERPARTS

MR. ARTURO SANTAMARIA	ENGINEERING PRODUCTION COUNTERPART
MR. MARCO ANTONIO GARCIA HOLM	ENGINEERING PRODUCTION COUNTERPART
MR. JAIME MORALES REYES	ENGINEERING PRODUCTION COUNTERPART
MR. OSCAR HERRERA MORA	ENGINEERING PRODUCTION COUNTERPART
MR. NEFTALI PEÑAFLORES VALDEZ	PRODUCTION COUNTERPART
MR. LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	PRODUCTION COUNTERPART
MR. NESTOR RODRIGUEZ GARCIA	PRODUCTION COUNTERPART

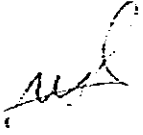
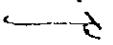

EXTERNAL LECTURERS

MR. GERARDO OJEDA CASTAÑEDA	COMMUNICATION EXPERT
MS. GABRIELA NERY PEGO	EDUCATION EXPERT
MR. OSCAR MONTERO	SCRIPT WRITING EXPERT

ANNEX 2

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION FOR JFY 1997

MONTH	MEXICAN SIDE	JAPANESE SIDE
September, 1996	1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I.	1. Signing of Record of Discussions
January, 1997	1. Distribution of G.I. and application form	
February, 1997	1. Submission of bill of estimate	
March, 1997	1. Opening of bank account	
April, 1997	1. Receipt of the application form	
May, 1997		1. Remittance of expenses
June, 1997	1. Selection and notification of the participants	
July - August, 1997	1. Implementation of the Course	
September, 1997	1. Submission of statement of expenditure 2. Submission of course report	

Handwritten signatures and initials:




ANNEX 3

TENTATIVE ESTIMATE EXPENSES TO BE BORNE
BY THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

CONCEPT	AMOUNT IN U.S. DOLLARS
SALARY PAYMENT	66,260.00
TRAINING COURSES EXPENSES	31,435.00
MAINTENANCE OF INSTALLATION	15,787.00
MAINTENANCE OF EQUIPMENT	17,250.00
TOTAL	130,731.00

EXCHANGE RATE	8.00 PESOS = 1 US DOLLAR
---------------	--------------------------

ANNEX 4

**TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE
BY THE GOVERNMENT OF JAPAN**

(S: US DOLLARS)

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT
I. INVITATION EXPENSES:		
1. AIR FARES	12	\$5,964.00
2. TRANSPORTATION (AIRPORT- HOTEL)	\$ 22.00 X 12	\$264.00
3. PER-DIEM	FIRST GROUP/ 6 PERSONS X 57 DAYS. \$20.00 PER DAY = \$6,840.00 SECOND GROUP/ 6 PERSONS X 43 DAYS. \$20.00 PER DAY = \$5,160.00	\$12,000.00
4. ACCOMMODATION	FIRST GROUP / 6 PERSONS X 57 NIGHTS. \$53.00 PER NIGHT = \$18,126.00 SECOND GROUP / 6 PERSONS X 43 NIGHTS. \$53.00 PER NIGHT = \$13,674.00	\$31,800.00
5. MEDICAL INSURANCE PREMIUMS	\$190.00 X 12	\$2,280.00
SUB TOTAL 1		\$52,308.00

I. AIR FAIRES

BREAKDOWN

FROM:

BELIZE	605.00
COSTA RICA	459.00
DOMINICAN REPUBLIC	485.00
EL SALVADOR	536.00
GUATEMALA	358.00
HAITI	1,018.00
HONDURAS	218.00
JAMAICA	477.00
NICARAGUA	406.00
PANAMA	468.00
SANTA LUCIA	449.00
TRINIDAD Y TOBAGO	485.00
TOTAL	5,964.00

Handwritten initials and marks

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT
II. TRAINING EXPENSES:		
1. TRANSPORTATION		
(BUS RENTAL)		
HOTEL-CETE-HOTEL	\$40.00 X 57 DAYS	\$2,280.00
2. PRACTICES	\$27,943.00	\$27,943.00
3. TEACHING MATERIALS		
3.1. PRINTING OF TECHNICAL BOOKS	FIRST GROUP \$15.00 X 8 DIFFERENT TYPES X 12 SAMPLES.	\$1,440.00
	SECOND GROUP \$15.00 X 4 DIFFERENT TYPES X 12 SAMPLES	\$720.00
3.2. PURCHASE OF VIDEO TAPES	\$64.00 X 50 TAPES	\$3,200.00
4. EXPENDABLE SUPPLIES	\$550.00	\$550.00
5. MEETING EXPENSES		
5.1. OPENING CEREMONY	\$30.00 X 65 PERSONS	\$1,950.00
5.2. CLOSING CEREMONY	\$30.00 X 65 PERSONS	\$1,950.00
6. PRINTING		
6.1. GENERAL INFORMATION	\$1,000.00	\$1,000.00
6.2. CERTIFICATES	\$15.00 X 14	\$210.00
SUB TOTAL 2		\$41,243.00
TOTAL		\$93,551.00

[Handwritten signatures and initials]

BREAKDOWN

2. PRACTICES

EQUIPMENT

ITEM OF EXPENSES	UNIT	AMOUNT
RENTAL VINTEN TRIPOD VISION 20	1	2,319.00
PURCHASE NP 90 BATTERIES	12	325.00
PURCHASE CHARGER BATTERIES FOR NP 90	2	427.00
STEADY CAM RENTAL FOUR DAYS	1	704.00
CAMERA CRANE RENTAL FOUR DAYS	1	2,530.00
LAMPS HMI (5600°K) DE 1200W (9.00 EACH) FIVE DAYS	3	660.00
MINIBRUTUS (2700 W) WITH FOR LAMPS EACH (15.00 EACH) FIVE DAYS	3	305.00
MICROPHONE RENTAL-PURCHASE 816 MKH FIVE DAYS	3	1,482.00
WIND SCREEN AND ZEPELIN WITH RABBIT SCREEN RENTAL-PURCHASE FIVE DAYS	3	893.00
MONITORING SISTEM WITH AN AMPLIFIER WITH 4 UNITS FIVE DAYS RENTAL-PURCHASE	4	5,792.00
MIXING CONSOLE FOR PUBICAL AUDIENCE WITH PARAMETRIC EQUALIZER OF 4 BANDS FIVE DAYS RENTAL-PURCHASE	1	3,491.00
SUBTOTAL		18,928.00

CAST

ANNOUNCER FOR EDUCATIONAL PROGRAMS (65.00 EACH DAY)	2 DAYS	130.00
VOICE OFF EDUCATIONAL PROGRAM (65.00 EACH ONE PER 2 VOICES)	1 DAY	130.00
MUSIC EDITOR FOR EDUCATIONAL PROGRAM	2 DAYS	160.00
ANNOUNCER FOR MUSICAL PROGRAM (65.00 EACH DAY)	3 DAYS	195.00
NORTHERN FOLKLORE MUSICAL GROUP	1 DAY	400.00
"JAROCHO" MUSICAL GROUP	1 DAY	400.00
"MARIACHI" 5 DAYS	1 DAY	600.00
"MARIMBA" 5 DAYS	1 DAY	400.00
6 ACTORS	4 DAYS	1,920.00
MUSIC EDITOR FOR DRAMA PROGRAM	2 DAYS	160.00
MAKE UP	12 DAYS	720.00
SCENARY		300.00
PROPS		1000.00
TRANSPORTATION LOCATION		2,500.00
SUBTOTAL		9,015.00
TOTAL		27,943.00

4. EXPENDABLE SUPPLIES

STATIONARY	150.00
PHOTOCOPIES	200.00
ENGARGOLADOS	200.00

Handwritten signatures and initials

APPENDIX 2

LIST OF ATTENDANTS

JAPANESE SIDE

MR. YOSHITAKA MISAWA	Head of the Japanese Preliminary Survey Team Japan
MR. MASANORI KATO	Member of the Preliminary Survey Team Deputy Director, International Planning and Broadcasting Department, Planning Division, Japan Broadcasting Corporation (NHK)
MR. KEIICHI TAKEMOTO	Member of the Preliminary Survey Team Staff, Second Training Division, Training Affairs Department, JICA
MR. HIROFUMI MATSUYAMA	Subdirector JICA Mexico Office
MS. YUKO YAGUI	Interpreter

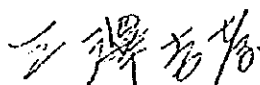
MEXICAN SIDE

MR. OMAR CHANONA BURGUETE	General Director of the Educational Television Unit
MR. GERARDO OJEDA CASTAÑEDA	Director of the Educational Television Training Center
MR. FEDERICO DEL VALLE OSORIO	Training Services Subdirector
MR. HELIOS GOMEZ PINZON	Technical Subdirector
MS. ALMA GABRIELA NERY PEGO	Academic Subdirector
MR. ARTURO SANTAMARIA ALDANA	Production Engineering Counterpart
MR. MARCO ANTONIO GARCIA HOLM	Production Engineering Counterpart
MR. JAIME MORALES REYES	Production Engineering Counterpart
MR. OSCAR HERRERA MORA	Production Engineering Counterpart
MR. NEFTALI PEÑAFLORES VALDEZ	Production Counterpart
MR. LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	Production Counterpart
MR. NESTOR ANTONIO RODRIGUEZ GARCIA	Production Counterpart
MR. JORGE OJANGUREN ROMERO	Chief of the Teaching Materials Department
MS. RAQUEL GOMEZ SANCHEZ	Translator

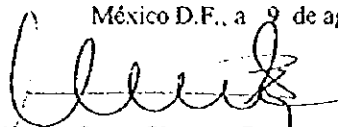
MINUTA DE LAS REUNIONES
ENTRE LA MISIÓN JAPONESA DE ESTUDIO Y
LAS AUTORIDADES DEL GOBIERNO DE LOS
ESTADOS UNIDOS MEXICANOS RELACIONADOS CON EL PROGRAMA
DE CAPACITACIÓN A TERCEROS PAÍSES

- 1.- La Misión Japonesa de Estudio (en lo sucesivo "La Misión") organizada para la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en lo sucesivo "JICA") y encabezado por el Sr. Yoshitaka Misawa, visitó los Estados Unidos Mexicanos del 5 al 20 de agosto de 1996, con el objetivo de discutir con las autoridades del Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos en relación a un curso de entrenamiento para participantes de países de Centro América y el Caribe en el curso de Producción de Programas de Televisión Educativa, considerado para su instrumentación en los Estados Unidos Mexicanos bajo el Programa de Capacitación de Terceros países de JICA.
2. La Misión realizó estudios, sostuvo una serie de reuniones e intercambió opiniones con la autoridades del Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos con relación al curso.
- 3.- Ambas partes compartieron el punto de vista de que el curso contribuirá al desarrollo de la Producción de Programas de Televisión Educativa en los países de Centro América y el Caribe.
- 4.- Ambas partes elaboraron un borrador de Registro de Discusiones el cual se anexa como APÉNDICE 1, y acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos la realización de estudios más amplios en su elaboración para asegurar la exitosa instrumentación del curso.
- 5.- Con relación a los países invitados (APÉNDICE 1, Documento Adjunto 6.), las Autoridades Mexicanas solicitaron que Cuba y Puerto Rico fueran incluidos como países invitados para solicitar su participación en el curso debido a los principios de la política internacional mexicana. La Misión prometió turnar dicha petición a las autoridades correspondientes del Gobierno de Japón.
- 6.- Una lista de los asistentes a las reuniones se anexa como APÉNDICE 2.
- 7.- Hecho por duplicado en idioma Español e Inglés, ambos documentos igualmente auténticos. De haber alguna discrepancia en la interpretación, prevalece la validez del redactado en Inglés.

México D.F., a 9 de agosto de 1996.



Sr. Yoshitaka Misawa
Jefe de la Misión
Misión Japonesa de Estudio



Pedagogo Ontar Chanona Burguete
Director General de la Unidad de
Televisión Educativa
Secretaría de Educación Pública



Dr. Gerardo Ojeda-Castañeda
Director del Centro de Entrenamiento de
Televisión Educativa
Unidad de Televisión Educativa
Secretaría de Educación Pública

(BORRADOR)

APÉNDICE I

**REGISTRO DE DISCUSIONES ENTRE EL REPRESENTANTE
RESIDENTE DE LA OFICINA DE JICA EN MÉXICO Y LAS AUTORIDADES
DEL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS
RELACIONADOS CON LA CAPACITACIÓN A TERCEROS PAÍSES**

La Misión Japonesa de Estudio, organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en lo sucesivo "JICA") y encabezada por el Sr. Yoshitaka Misawa , visitó los Estados Unidos Mexicanos de 5 al 20 de agosto de 1996 y sostuvo una serie de discusiones con las autoridades del Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos con relación al marco de acción a un curso de entrenamiento en el área de Producción de Programas de Televisión Educativa bajo el Programa de Capacitación a Terceros países de JICA, y las medidas deseables a ser tomadas por ambos Gobiernos para asegurar la exitosa instrumentación del curso.

Con base en las discusiones mencionadas, el Representante Residente de la Oficina de JICA en México y las Autoridades del Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos los asuntos referidos al documento que se anexa.

Hecho por duplicado en idioma Español a Inglés, ambos documentos son igualmente auténticos. De haber alguna discrepancia de interpretación, prevalece la validez del redactado en Inglés.

México, D.F., a septiembre de 1996.

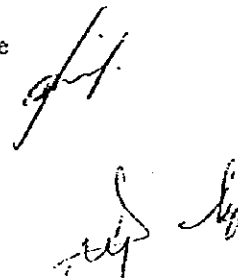
Mr. Ken Kinoshita
Representante Residente de la Oficina
de JICA en México

Lic. Jaime Hugo Talancón Escobedo
Oficial Mayor de la
Secretaría de Educación Pública

Lic. Guillermo Kelley Salinas
Coordinador General para la Modernización
Administrativa de la Educación
Secretaría de Educación Pública

Pedagogo Omar Chanona Burguete
Director General de la Unidad de
Televisión Educativa
Secretaría de Educación Pública

Dr. Gerardo Ojeda Castañeda
Director del Centro de Entrenamiento de
Televisión Educativa
Unidad de Televisión Educativa
Secretaría de Educación Pública



DOCUMENTO ADJUNTO

EL GOBIERNO DE JAPÓN Y EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS COOPERARÁN MUTUAMENTE EN LA ORGANIZACIÓN DE UN CURSO DE ENTRENAMIENTO EN EL CAMPO DE LA PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA (EN LO SUCESIVO "EL CURSO") EN EL CENTRO DE ENTRENAMIENTO DE TELEVISIÓN EDUCATIVA (EN LO SUCESIVO "CETE") BAJO EL PROGRAMA DE ENTRENAMIENTO A TERCEROS PAÍSES DE JICA.

EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS REALIZARÁ EL CURSO CON EL APOYO DEL GOBIERNO DE JAPÓN BAJO SU ESQUEMA DE COOPERACIÓN TÉCNICA. EL CURSO SE LLEVARÁ A CABO UNA VEZ AL AÑO DENTRO DEL AÑO FISCAL JAPONÉS (EN LO SUCESIVO "JFY") 1997 AL JFY 2001. SUJETO A CONSULTAS ANUALES ENTRE AMBOS GOBIERNOS.

EL CURSO SE REALIZARÁ DE ACUERDO CON LO SIGUIENTE:

1. TÍTULO

EL CURSO SERÁ TITULADO "CURSO INTERNACIONAL DE ENTRENAMIENTO EN LA PRODUCCIÓN INTEGRAL DE PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA".

2. PROPÓSITO

EL PROPÓSITO DEL CURSO ES PROPORCIONAR A LOS PARTICIPANTES DE PAÍSES DE CENTROAMÉRICA Y EL CARIBE LA OPORTUNIDAD DE MEJORAR SUS CONOCIMIENTOS Y TÉCNICAS EN EL CAMPO DE LA PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA.

3. OBJETIVOS

3.1. OBJETIVO GENERAL

AL TÉRMINO DEL CURSO, LOS PARTICIPANTES (PRODUCTORES Y PERSONAL TÉCNICO) DEBERÁN:

REALIZAR PRÁCTICAS PROFESIONALES DEL PROCESO DE PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA, DESDE LA PLANEACIÓN HASTA LA CULMINACIÓN TOTAL DE PROGRAMAS DE CALIDAD.

3.2. OBJETIVO DE LA PRIMERA ETAPA

LOS PARTICIPANTES (PRODUCTORES) DEBERÁN:

ENRIQUECER EL CONOCIMIENTO DEL PROCESO DE PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA, TOMANDO EN CONSIDERACIÓN LOS FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS, DISEÑO DE PROYECTOS, ELABORACIÓN DE GUIÓN Y SISTEMAS NARRATIVOS Y DE PRODUCCIÓN, A PARTIR DE UN ANÁLISIS CONCEPTUAL Y LA PRÁCTICA, DESDE UN PUNTO DE VISTA GLOBAL.

3.3. OBJETIVO DE LA SEGUNDA ETAPA

LOS PARTICIPANTES (PERSONAL TÉCNICO) DEBERÁN:

- GENERAR UNA ACTITUD ANALÍTICA RESPECTO A LA PRODUCCIÓN EN EQUIPO. COMO PARTE ESENCIAL DE LA COMUNICACIÓN A TRAVÉS DE IMÁGENES Y SONIDOS.
- IDENTIFICAR LOS ERRORES MÁS FRECUENTES QUE SE COMETEN EN LA FASE DE PRODUCCIÓN.
- OPERAR CORRECTAMENTE EL EQUIPO DE PRODUCCIÓN (CÁMARA, ILUMINACIÓN, AUDIO Y EDICIÓN) PARA LOGRAR UNA COMUNICACIÓN EFICAZ CON IMÁGENES ESTÉTICAS.

3.4. OBJETIVO DE LA TERCERA ETAPA

LOS PARTICIPANTES (PRODUCTORES Y PERSONAL TÉCNICO) DEBERÁN:

- GENERAR UN PROCESO DE PRODUCCIÓN INTEGRAL PARA PRODUCIR PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EDUCATIVA DE BUENA CALIDAD COMBINANDO LOS ASPECTOS DE LA PRODUCCIÓN Y LA INGENIERÍA DE LA PRODUCCIÓN.

4. DURACIÓN

LA DURACIÓN DEL CURSO SERÁ APROXIMADAMENTE DE OCHO (8) SEMANAS Y EL CURSO PARA EL JFY 1997 (EN LO SUCESIVO "EL PRIMER CURSO") ESTÁ PLANEADO PARA REALIZARSE DEL 7 DE JULIO AL 29 DE AGOSTO DE 1997.

5. TEMARIOS

EL CURSO ESTÁ COMPUESTO DE 3 ETAPAS DE ACUERDO CON LAS CARACTERÍSTICAS DEL PROCESO DE PRODUCCIÓN.

EL TEMARIO TENTATIVO Y LA ESTRUCTURA DEL PRIMER CURSO APARECEN EN EL ANEXO I.

6. PAÍSES INVITADOS

LOS GOBIERNOS DE LOS 12 PAÍSES QUE SERÁN INVITADOS PARA SOLICITAR EL CURSO POR MEDIO DE LA NOMINACIÓN DE SUS PARTICIPANTES SON LOS SIGUIENTES:

BELICE, COSTA RICA, REPÚBLICA DOMINICANA, EL SALVADOR, GUATEMALA, HONDURAS, HAITÍ, JAMAICA, NICARAGUA, PANAMÁ, SANTA LUCÍA, TRINIDAD Y TOBAGO.

7. NÚMERO DE PARTICIPANTES

EL NÚMERO DE PARTICIPANTES DE LOS PAÍSES INVITADOS NO DEBERÁ EXCEDER UN TOTAL DE DOCE (12). Y EL NÚMERO DE PARTICIPANTES DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS NO DEBERÁ EXCEDER DE DOS (2).

8. REQUISITOS DE LOS SOLICITANTES

AMBAS ÁREAS (PRODUCTORES Y PERSONAL TÉCNICO)

LOS SOLICITANTES DEL CURSO:

- 8.1 SER NOMINADOS POR SUS RESPECTIVOS GOBIERNOS DE ACUERDO CON LOS PROCEDIMIENTOS ESTIPULADOS EN EL PUNTO 10.1.
- 8.2 LABORAR EN UNA ORGANIZACIÓN DE TELEVISIÓN, CON UNA EXPERIENCIA PRACTICA DE MAS DE DOS (2) AÑOS COMO:
- 8.3 TENER MENOS DE 35 AÑOS DE EDAD.
- 8.4 TENER SUFICIENTE DOMINIO ORAL Y ESCRITO DEL IDIOMA ESPAÑOL.
- 8.5 ESTAR FÍSICA Y MENTALMENTE SANO PARA QUE CUMPLAN CABALMENTE EL CURSO.

PERFIL DE INGRESO PARA PRODUCTORES

8.6 GRADUADO UNIVERSITARIO EN LAS ÁREAS DE COMUNICACIÓN O EDUCACIÓN. PRODUCTORES CON UN MÍNIMO DE DOS (2) AÑOS DE EXPERIENCIA EN SU ÁREA Y CONOCIMIENTOS BÁSICOS DE:

- PROCESO DE PRODUCCIÓN
- COMUNICACIÓN AUDIOVISUAL
- TÉCNICAS DE AUDIO, ILUMINACIÓN, CÁMARA Y VIDEOGRABACIÓN.

QUIENES PARTICIPARÁN EN LA 1a. Y 3a. ETAPAS.

PERFIL DE INGRESO PARA PERSONAL TÉCNICO

8.7 GRADUADO UNIVERSITARIO O CON ESTUDIOS A NIVEL PREPARATORIA: CAMARÓGRAFOS, ILUMINADORES, EDITORES Y TÉCNICOS EN AUDIO CON UN MÍNIMO DE DOS (2) AÑOS DE EXPERIENCIA Y AMPLIOS CONOCIMIENTOS EN SU ÁREA RESPECTIVA.

QUIENES PARTICIPARÁN EN LA 2a. Y 3a. ETAPAS.

9. INSTALACIONES E INSTITUCIONES

EL CURSO SERÁ REALIZADO EN EL CETE, SECRETARÍA DE EDUCACIÓN PÚBLICA.

10. PROCEDIMIENTO DE SOLICITUD

- 10.1 EL GOBIERNO QUE SOLICITE PARTICIPAR EN EL CURSO EN NOMBRE DE SUS NOMINADOS DEBERÁ ENTREGAR CINCO (5) COPIAS DE LA FORMA PREESTABLECIDA DE SOLICITUD DE CADA UNO DE ELLOS AL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS. A TRAVÉS DE LOS CANALES DIPLOMÁTICOS A MÁS TARDAR NOVENTA (90) DÍAS ANTES DEL INICIO DEL CURSO.
- 10.2 EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS INFORMARÁ A LOS GOBIERNOS SOLICITANTES A TRAVÉS DE LOS CANALES DIPLOMÁTICOS SI LOS SOLICITANTES FUERON ACEPTADOS EN EL CURSO A MÁS TARDAR CUARENTA (40) DÍAS ANTES DE QUE INICIE EL MISMO.

11. MEDIDAS QUE DEBERÁN TOMAR EL GOBIERNO DE JAPÓN Y EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS.

EN LA ORGANIZACIÓN E INSTRUMENTACIÓN DEL CURSO. AMBOS GOBIERNOS TOMARÁN LAS SIGUIENTES MEDIDAS DE ACUERDO CON LAS LEYES Y NORMAS RELEVANTES QUE IMPERAN EN CADA PAÍS. EL CALENDARIO PARA LA INSTRUMENTACIÓN DEL PRIMER CURSO APARECE EN EL ANEXO 2.

11.1 EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS

11.1.1 LA SECRETARÍA DE RELACIONES EXTERIORES Y LA SECRETARÍA DE EDUCACIÓN PÚBLICA

- (1) PROPORCIONAR FOLLETOS DE INFORMACIÓN GENERAL (G.I.) A LOS GOBIERNOS DE LOS PAÍSES INVITADOS A TRAVÉS DE LOS CANALES DIPLOMÁTICOS.
- (2) RECIBIR LAS FORMAS DE SOLICITUD Y ENTREGARLAS AL CETE.
- (3) NOTIFICAR LOS RESULTADOS DE LA SELECCIÓN DE PARTICIPANTES A LOS GOBIERNOS RESPECTIVOS A TRAVÉS DE LOS CANALES DIPLOMÁTICOS.

11.1.2 CETE

- (1) FORMULAR LOS TEMARIOS BASADOS EN EL ANEXO 1.
- (2) PREPARAR E IMPRIMIR LA G.I.
- (3) ASIGNAR UN NÚMERO ADECUADO DE PERSONAL COMO CONFERENCISTAS E INSTRUCTORES PARA EL CURSO.

- (4) PROPORCIONAR LAS INSTALACIONES Y EQUIPO PARA EL CURSO.
- (5) SELECCIONAR LOS PARTICIPANTES DEL CURSO E INFORMAR LOS RESULTADOS DE LA SELECCIÓN A LA SECRETARIA DE RELACIONES EXTERIORES Y A LA OFICINA DE JICA MÉXICO (EN LO SUCESIVO DENOMINADA "LA OFICINA DE JICA").
- (6) HACER LOS TRÁMITES PARA EL ALOJAMIENTO DE LOS PARTICIPANTES.
- (7) HACER LOS TRAMITES PARA RESERVAR BOLETOS DE AVIÓN PARA LOS PARTICIPANTES DE LOS PAÍSES INVITADOS, RECEPCIÓN Y DESPEDIDA EN EL AEROPUERTO.
- (8) ORGANIZAR VISITAS DE ESTUDIO COMO PARTE DEL CURSO.
- (9) TOMAR MEDIDAS PRESUPUESTALES PARA CUBRIR EL COSTO DE LA REALIZACIÓN DEL CURSO EXCLUYENDO LOS GASTOS FINANCIADOS POR EL GOBIERNO DE JAPÓN (ESTIMADO DE GASTOS PARA EL PRIMER CURSO APARECE EN EL ANEXO 3).
- (10) EMITIR LAS CONSTANCIAS A LOS PARTICIPANTES QUE HAYAN COMPLETADO SATISFACTORIAMENTE EL CURSO.
- (11) ENTREGAR UN REPORTE DE CURSO A LA OFICINA DE JICA DENTRO DE LOS TREINTA (30) DÍAS POSTERIORES A LA TERMINACIÓN DEL CURSO.
- (12) ENTREGAR UN BALANCE DE GASTOS CON LOS RECIBOS Y LA DOCUMENTACIÓN NECESARIA PARA LA JUSTIFICACIÓN DE DICHOS GASTOS DENTRO DE LOS TREINTA (30) DÍAS POSTERIORES A LA TERMINACIÓN DEL CURSO.
- (13) COORDINAR TODOS LOS ASUNTOS RELACIONADOS CON EL CURSO

11.2 EL GOBIERNO DE JAPÓN

- (1) ABSORBER LOS SIGUIENTES GASTOS A TRAVÉS DE JICA (ESTIMADO DE GASTOS PARA EL PRIMER CURSO APARECE EN EL ANEXO 4)
 - A) GASTOS RELEVANTES DE LOS PARTICIPANTES DE LOS PAÍSES INVITADOS TALES COMO TARIFA AÉREA INTERNACIONAL EN CLASE ECONÓMICA, HOSPEDAJE, VIÁTICOS Y PRIMA DE SEGURO MÉDICO.
 - B) GASTOS RELEVANTES DEL CETE TALES COMO LIBROS DE TEXTO, GASTOS DE OPERACIÓN, IMPRESIÓN DE G.I. Y HONORARIOS PARA LOS CONFERENCISTAS EXTERNOS.

12. PROCEDIMIENTO DE ASIGNACIÓN FINANCIERA Y SU GASTO

LA ASIGNACIÓN DE FONDOS PARA LOS GASTOS SERÁ REALIZADA POR EL GOBIERNO DE JAPÓN Y EL GASTO GENERADO SERÁ DE ACUERDO CON EL SIGUIENTE PROCEDIMIENTO:

- 12.1 EL CETE ABRIRÁ UNA CUENTA DE BANCO EN LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANO PARA RECIBIR LOS FONDOS REMITIDOS POR JICA. E INFORMARÁ A LA OFICINA DE JICA EL NOMBRE DEL BANCO, EL NÚMERO DE CUENTA Y EL NOMBRE DEL CUENTAHABIENTE.
- 12.2 EL CETE ENTREGARÁ A LA OFICINA DE JICA UN PRESUPUESTO DE LOS GASTOS CORRESPONDIENTES AL GOBIERNO DE JAPÓN, EN UN PLAZO NO MAYOR DE SESENTA (60) DÍAS ANTES DEL INICIO DEL CURSO.
- 12.3 JICA AVALARÁ EL PRESUPUESTO Y REMITIRÁ EL MONTO AVALADO DE GASTOS A LA CUENTA MENCIONADA EN EL PUNTO 12.1 DENTRO DE LOS TREINTA (30) DÍAS POSTERIORES A LA RECEPCIÓN DEL PRESUPUESTO.
- 12.4 EL CETE REMITIRÁ A LA OFICINA DE JICA UN BALANCE DE GASTOS DENTRO DE LOS TREINTA (30) DÍAS DESPUÉS DE QUE TERMINE EL CURSO.
- 12.5 EN CASO DE EXISTIR REMANENTES DE LA CANTIDAD REMITIDA POR JICA, EL CETE REEMBOLSARÁ DICHA CANTIDAD A JICA. LOS FONDOS DESTINADOS PARA LA TARIFA AÉREA, HOSPEDAJE, VIÁTICOS Y PRIMAS DE SEGURO MÉDICO NO SERÁN APLICADOS PARA NINGÚN OTRO PROPÓSITO.
- 12.6 CUANDO SEA REQUERIDO POR JICA, EL CETE PONDRÁ A LA DISPOSICIÓN DE JICA TODOS LOS RECIBOS Y LA DOCUMENTACIÓN NECESARIA PARA COMPROBAR EL ESTADO DE GASTOS SEÑALADO EN EL PUNTO 12.4.

13. OTROS

ESTE DOCUMENTO ADJUNTO Y LOS SIGUIENTES ANEXOS FORMARÁN PARTE DEL REGISTRO DE DISCUSIONES:

- ANEXO 1: TEMARIO TENTATIVO DE CURSO (PARA EL JFY 1997)
- ANEXO 2: CALENDARIO DE INSTRUMENTACIÓN DE CURSO (PARA EL JFY 1997)
- ANEXO 3: ESTIMADO DE GASTOS CORRESPONDIENTES AL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS (PARA EL AÑO FISCAL MEXICANO 1997)
- ANEXO 4: ESTIMADO DE GASTOS CORRESPONDIENTES AL GOBIERNO DE JAPÓN (PARA EL JFY 1997)

ANEXO 1

ESTRUCTURA DEL CURSO

ESTE CURSO SE COMPONE DE TRES ETAPAS DE ACUERDO A CON LAS CARACTERISTICAS DEL PROCESO DE PRODUCCION:

PRIMERA ETAPA PRODUCCION DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA 5 SEMANAS PARA PRODUCTORES

SEGUNDA ETAPA INGENIERIA DE PRODUCCION DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA 3 SEMANAS PARA PERSONAL TECNICO

TERCERA ETAPA PRODUCCION INTEGRAL DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA 3 SEMANAS PARA AMBOS, PRODUCTORES Y PERSONAL TECNICO.

TOTAL: 8 SEMANAS

PERIODOS DE TRABAJO PARA CADA ETAPA

ETAPA	SEMANAS							
	1a.	2a.	3a.	4a.	5a.	6a.	7a.	8a.
1a. PRODUCCION DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA								
2a. INGENIERIA DE PRODUCCION DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA								
3a. PRODUCCION INTEGRAL DE PROGRAMAS DE TELEVISION EDUCATIVA								

HORARIO

PRIMERA Y SEGUNDA ETAPA:

CEREMONIA DE INAUGURACION DE LA PRIMERA ETAPA: 7 DE JULIO DE 1997.

CEREMONIA DE INAUGURACION DE LA SEGUNDA ETAPA: 21 DE JULIO DE 1997.

DE LUNES A VIERNES DE 10:00 A 18:00 HRS.

SABADO DE LA 5a. SEMANA DE LAS 10:00 A LAS 14:00 HRS.

TERCERA ETAPA:

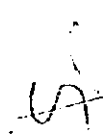
DE LUNES A VIERNES DE 10:00 A 18:00 HRS.

Y SABADOS DE 10:00 A 14:00 HRS.

AMBOS GRUPOS INICIARAN TRABAJO DE MANERA CONJUNTA A PARTIR DE LA 6a.

SEMANA. (TERCERA ETAPA)

CEREMONIA DE CLAUSURA DEL CURSO: 29 DE AGOSTO DE 1997.



TEMARIO TENTATIVO PARA EL JFY 1997

PRIMERA ETAPA

	LUNES	MARTES	MIÉRCOLES	JUEVES	VIERNES
1a. SEMANA	CEREMONIA DE INAUGURACIÓN HISTORIA DE LA TELEVISIÓN EDUCATIVA EN: MÉXICO JAPÓN REPORTE DE LOS PAISES INVITADOS	HISTORIA DE LA TELEVISIÓN EDUCATIVA EN: MÉXICO JAPÓN REPORTE DE LOS PAISES INVITADOS	PROCESOS DE PRODUCCIÓN DE TELEVISIÓN EDUCATIVA EN MÉXICO, EN JAPÓN. REPORTE DE PAISES INVITADOS	LOS USOS EDUCATIVOS DE LA TELEVISIÓN	LOS USOS EDUCATIVOS DE LA TELEVISIÓN
2a. SEMANA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA
3a. SEMANA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA	LOS LENGUAJES AUDIOVISUALES FUNDAMENTOS PEDAGÓGICOS PARA LA TELEVISIÓN EDUCATIVA
4a. SEMANA	DISEÑO DE PROYECTO TALLER ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	DISEÑO DE PROYECTO TALLER ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	DISEÑO DE PROYECTO TALLER ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	DISEÑO DE PROYECTO TALLER ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	DISEÑO DE PROYECTO TALLER ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER
5a. SEMANA	ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER	ELABORACIÓN DE GUIÓN TALLER

* SÁBADO DE LA 5a. SEMANA: REUNIÓN DE PRODUCCIÓN INTEGRAL PARA LA PRIMERA SEMANA DE LA TERCERA ETAPA.

SEGUNDA ETAPA (1/3)

	LUNES	MARTES	MIÉRCOLES	JUEVES	VIERNES
1a. SEMANA	<p>INAUGURACIÓN DEL CURSO FASE 2 (CUATRO ÁREAS)</p> <p>REPORTE INDIVIDUAL DE LOS PARTICIPANTES</p> <p>LOS PROCESOS DE PRODUCCIÓN I</p> <p>PROCESO DE PRODUCCIÓN EN TELEVISIÓN EDUCATIVA EN MÉXICO Y NHK</p>	<p>LOS PROCESOS DE PRODUCCIÓN II</p> <p>LOS PROCESOS DE PRODUCCIÓN EN LOS PAÍSES INVITADOS LENGUAJE AUDIOVISUAL.</p>	<p>CÁMARA: SISTEMAS ÓPTICOS PARA TELEVISIÓN</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN BÁSICA: OPERACIÓN DE LOS EQUIPOS DE ILUMINACIÓN.</p> <p>AUDIO: SENSIBILIZACIÓN TEORÍA GENERAL DEL AUDIO</p> <p>EDICIÓN: FUNDAMENTOS DE LA SEÑAL DE TELEVISIÓN</p>	<p>CÁMARA: EL TRABAJO DE CÁMARA Y SU EXPRESIÓN</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN BÁSICA PARA UNA PERSONA.</p> <p>AUDIO: TEORÍA GENERAL DEL AUDIO</p> <p>EDICIÓN: FUNDAMENTOS TÉCNICOS DE LA EDICIÓN I.</p>	<p>CÁMARA: LA COMPOSICIÓN DE LA IMAGEN EN MOVIMIENTO</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN PARA PROGRAMAS DE ENTREVISTA.</p> <p>AUDIO: EL TRABAJO DEL ÁREA DE INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN.</p> <p>EDICIÓN: FUNDAMENTOS TÉCNICOS DE LA EDICIÓN II.</p>

Handwritten mark and number 9.

Handwritten mark.

SEGUNDA ETAPA (2/3)

	LUNES	MARTES	MIÉRCOLES	JUEVES	VIERNES
2a. SEMANA	<p>CÁMARA: EL TRABAJO DE CÁMARA Y SU EXPRESIÓN</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN PARA GRUPOS DE PERSONAS.</p> <p>AUDIO: PAUTAS DE TRABAJO EN EL ESTUDIO.</p> <p>EDICIÓN: EL MONTAJE PRACTICA I. COMERCIAL</p>	<p>CÁMARA: CONTINUIDAD ESPACIO/TEMPORAL ELEMENTOS DE UNA SECUENCIA</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN DE ÁREAS GRANDES.</p> <p>AUDIO: TEORÍA OPERATIVA DE LOS EQUIPOS DE ESTUDIO LOS MICRÓFONOS</p> <p>EDICIÓN: PRACTICA 2 (CONTINUIDAD)</p>	<p>CÁMARA: GRABACIÓN DE SECUENCIAS EN LOCACIÓN</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN PARA PROGRAMAS DE ENTREVISTA</p> <p>AUDIO: DESARROLLO DE PRACTICA EN ESTUDIO.</p> <p>EDICIÓN: PRACTICA 3 (CÁMARA SUBMARINA)</p>	<p>CÁMARA: EL TRABAJO DE CÁMARA PARA PROGRAMAS DE TELEVISIÓN EN ESTUDIO.</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN EN PROGRAMAS DE DRAMA.</p> <p>AUDIO: PAUTAS DE TRABAJO EN LOCACIÓN.</p> <p>EDICIÓN: EL SWITCHER</p>	<p>CÁMARA: GRABACIÓN DE SECUENCIA EN ESTUDIO.</p> <p>ILUMINACIÓN: ILUMINACIÓN EN PROGRAMAS DE EDUCACIÓN MUSICAL.</p> <p>AUDIO: DESARROLLO DE PRACTICAS.</p> <p>EDICIÓN: PRACTICAS CON EL SWITCHER</p>

g.

g.

SEGUNDA ETAPA (3/3)

	LUNES	MARTES	MIÉRCOLES	JUEVES	VIERNES
3a. SEMANA	EL TRABAJO DE LA INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN PARA PROGRAMAS DE DIFERENTES GÉNEROS	EL TRABAJO DE LA INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN PARA PROGRAMAS DE DIFERENTES GÉNEROS	APLICACIÓN DEL TRABAJO DE LA INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS EDUCATIVOS DE DIFERENTES GÉNEROS GRABACIÓN	APLICACIÓN DEL TRABAJO DE LA INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS EDUCATIVOS DE DIFERENTES GÉNEROS GRABACIÓN	APLICACIÓN DEL TRABAJO DE LA INGENIERÍA DE PRODUCCIÓN DE PROGRAMAS EDUCATIVOS DE DIFERENTES GÉNEROS GRABACIÓN

* SÁBADO DE LA 3a. SEMANA: REUNIÓN DE PRODUCCIÓN INTEGRAL PARA LA PRIMERA SEMANA DE LA TERCERA ETAPA.

f. -6

del

TERCERA ETAPA

	LUNES	MARTES	MIÉRCOLES	JUEVES	VIERNES	SÁBADO
1a. SEMANA	REALIZACIÓN DE CÁPSULAS	REALIZACIÓN DE CÁPSULAS	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO EVALUACIÓN	REUNIÓN INTEGRAL DE PRODUCCIÓN PARA LA SEGUNDA SEMANA
2a. SEMANA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO MUSICAL	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO MUSICAL	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO MUSICAL	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO MUSICAL	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO MUSICAL EVALUACIÓN	REUNIÓN INTEGRAL DE PRODUCCIÓN PARA LA TERCERA SEMANA
3a. SEMANA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO DE DRAMA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO DE DRAMA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO DE DRAMA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO DE DRAMA	REALIZACIÓN DE UN PROGRAMA EDUCATIVO DE DRAMA CEREMONIA DE CLAUSURA	

[Handwritten signature]

[Handwritten signature]


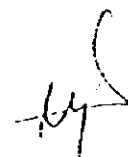
LISTA DE INSTRUCTORES PARA EL "JFY" 1997

CONTRAPARTES

SR. ARTURO SANTAMARIA	CONTRAPARTE DE INGENIERIA DE PRODUCCION
SR. MARCO ANTONIO GARCIA HOLM	CONTRAPARTE DE INGENIERIA DE PRODUCCION
SR. JAIME MORALES REYES	CONTRAPARTE DE INGENIERIA DE PRODUCCION
SR. OSCAR HERRERA MORA	CONTRAPARTE DE INGENIERIA DE PRODUCCION
SR. NEFTALI PEÑAFLORES VALDEZ	CONTRAPARTE DE PRODUCCION
SR. LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	CONTRAPARTE DE PRODUCCION
SR. NESTOR RODRIGUEZ GARCIA	CONTRAPARTE DE PRODUCCION

INSTRUCTORES EXTERNOS

MR. GERARDO OJEDA CASTAÑEDA	EXPERTO EN COMUNICACION
MS. GABRIELA NERY PEGO	EXPERTA EN EDUCACION
MR. OSCAR MONTERO	EXPERTO EN GUIONISMO



ANEXO 2

CALENDARIO DE INSTRUMENTACIÓN DEL CURSO PARA EL JFY 1997

MES	PARTE MEXICANA	PARTE JAPONESA
SEPTIEMBRE, 1996	1. FIRMA DEL REGISTRO DE DISCUSIONES 2. PREPARACIÓN DE G.I.	1. FIRMA DEL REGISTRO DE DISCUSIONES
ENERO, 1997	1. DISTRIBUCIÓN DE G.I. Y FORMATO DE SOLICITUD	
FEBRERO, 1997	1. ENTREGA DE PRESUPUESTO	
MARZO, 1997	1. APERTURA DE LA CUENTA DE BANCO	
ABRIL, 1997	1. RECEPCIÓN DE SOLICITUDES	
MAYO, 1997		1. ENVÍO DEL RECURSO FINANCIERO
JUNIO, 1997	1. SELECCIÓN Y NOTIFICACIÓN DE PARTICIPANTES	
JULIO - AGOSTO, 1997	1. INSTRUMENTACIÓN DE CURSO	
SEPTIEMBRE, 1997	1. ENTREGA DE REPORTE DE GASTOS 2. ENTREGA DE REPORTE DE CURSO	

f
b
u

ANEXO 3

ESTIMADO DE GASTOS DE OPERACIÓN PARA SER CUBIERTOS
POR EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS

CONCEPTO	CANTIDAD EN U.S DOLARES
PAGO DE SALARIOS	66,260.00
GASTO DE CURSOS	31,435.00
INSTALACION Y MANTENIMIENTO	15,787.00
MANTENIMIENTO DEL EQUIPO	17,250.00
TOTAL	130,731.00

TIPO DE CAMBIO	8.00 PESOS = 1 DOLAR
----------------	----------------------

[Handwritten signature]

[Handwritten mark]

ANEXO 4
PRESUPUESTO PARA APLICAR
POR EL GOBIERNO DE JAPON

(\$: US DOLLARS)

TIPO DE GASTO	DESGLOSE	MONTO
I. GASTOS DE INVITACION:		
1. TARIFAS AEREAS	12	\$5,964.00
2. TRANSPORTACION (AEROPUERTO- HOTEL- AEROPUERTO)	\$ 22.00 X 12	\$264.00
3. VIATICOS	PRIMER GRUPO/ 6 PERSONAS X 57 DIAS. \$20.00 POR DIA = \$6,840.00 SEGUNDO GRUPO/ 6 PERSONAS X 43 DIAS. \$20.00 POR DIA = \$5,160.00	\$12,000.00
4. HOTEL	PRIMER GRUPO / 6 PERSONAS X 57 NOCHES. . \$53.00 POR NOCHE = \$18,126.00 SEGUNDO GRUPO / 6 PERSONAS X 43 NOCHES. \$53.00 POR NOCHE = \$13,674.00	\$31,800.00
5. SEGURO MEDICO	\$190.00 X 12	\$2,280.00
SUB TOTAL 1		\$52,308.00

1. TARIFAS AEREAS

DESGLOSE

DESDE:

BELICE	605.00
COSTA RICA	459.00
REPUBLICA DOMINICANA	485.00
EL SALVADOR	536.00
GUATEMALA	358.00
HAITI	1,018.00
HONDURAS	218.00
JAMAICA	477.00
NICARAGUA	406.00
PANAMA	468.00
SANTA LUCIA	449.00
TRINIDAD Y TOBAGO	485.00
TOTAL	5,964.00

TIPO DE GASTO	DESGLOSE	MONTO
I. GASTOS DE ENTRENAMIENTO:		
1. TRANSPORTACION (RENTA DE UN AUTOBUS) HOTEL-CETE-HOTEL	\$40.00 X 57 DIAS	\$2,280.00
2. PRACTICAS	\$27,943.00	\$27,943.00
3. MATERIALES DE ENSEÑANZA		
3.1. IMPRESION DE LIBROS TECNICOS	PRIMER GRUPO \$15.00 X 8 TIPOS X 12 EJEMPLARES.	\$1,440.00
	SEGUNDO GRUPO \$15.00 X 4 TIPOS X 12 EJEMPLARES	\$720.00
3.2. COMPRA DE VIDEO	\$64.00 X 50 CINTAS	\$3,200.00
4. GASTOS DE CONSUMIBLES	\$550.00	\$550.00
5. GASTOS DE REUNION		
5.1. CEREMONIA DE INAUGURACION	\$30.00 X 65 PERSONAS	\$1,950.00
5.2. CEREMONIA DE CLAUSURA	\$30.00 X 65 PERSONAS	\$1,950.00
6. IMPRESOS	\$1,000.00	\$1,000.00
6.1. INFORMACION GENERAL		
6.2. CERTIFICADOS	\$15.00 X 14	\$210.00
SUB TOTAL 2		\$41,243.00
TOTAL		\$93,551.00

of.
10

64

DESGLOSE

2. PRACTICAS

EQUIPO

ITEMS	UNIDAD	COSTO
RENDADE TRIPIE VINTEN VISION 20	1	2,319.00
COMPRA DE NP 90 BATERIAS	12	325.00
COMPRA DE CARGADORES DE BATERIAS PARA NP 90	2	427.00
RENDA DE STEADY CAM PARA CUATRO DIAS	1	704.00
RENDA DE GRUA PARA CAMARA CUATRO DIAS	1	2,530.00
RENDA DE LAMPARAS HMI (5600°K) DE 1200W (9.00 CADA UNA) CINCO DIAS	3	660.00
RENDA DE MINIBRUTUS (2700 W) CON LAMPARAS CADA UNO (15.00 CADA UNO) CINCO DIAS	3	305.00
RENDA O COMPRA DE MICROFONOS 816 MKH CINCO DIAS	3	1,482.00
RENDA O COMPRA DE WIND SCREEN CON ZEPELIN DE PELO DE CONEJO CINCO DIAS	3	893.00
RENDA O COMPRA DEL SISTEMA DE MONITOREO CON 4 AMPLIFICADORES CINCO DIAS	4	5,792.00
RENDA O COMPRA DE UNA CONSOLA DE MEZCLA PARA AUDIENCIA PUBLICA CON ECUALIZADOR PARAMETRICO DE 4 BANDAS CINCO DIAS	1	3,491.00
	SUBTOTAL	18,928.00

CAST

CONDUCTOR PARA EL PROGRAMA EDUCATIVO (65.00 POR DIA)	2 DIAS	130.00
VOZ EN OFF PARA PROGRAMA EDUCATIVO (65.00 CADA UNO POR DOS VOCES)	1 DIA	130.00
MUSICALIZADOR PARA PROGRAMA EDUCATIVO	2 DIAS	160.00
CONDUCTOR PARA PROGRAMA MUSICAL (65.00 POR DIA)	3 DIAS	195.00
GRUPO MUSICAL NORTEÑO	1 DIA	400.00
GRUPO MUSICAL "JAROCHO"	1 DIA	400.00
"MARIACHI"	1 DIA	600.00
"MARIMBA"	1 DIA	400.00
6 ACTORES	4 DIAS	1,920.00
MUSICALIZADOR PARA PROGRAMA DE DRAMA	2 DIAS	160.00
MAQUILLAJE	12 DIAS	720.00
ESCENOGRAFIA		300.00
PROPS		1000.00
TRANSPORTACION PARA LOCACION		2,500.00
	SUBTOTAL	9,015.00
	TOTAL	27,943.00

4. GASTOS DE CONSUMIBLES

PAPELERIA	150.00
FOTOCOPIAS	200.00
ENGARGOLADOS	200.00
TOTAL	550.00

LISTA DE ASISTENTES

PARTE JAPONESA

SR. YOSHITAKA MISAWA	Jefe de la Misión Japonesa de Estudio
SR. MASANORI KATO	Miembro de la Misión de Estudio Subdirector del Departamento de Planeación Internacional y de Transmisión, División de Planeación (NHK).
SR. KEIICHI TAKEMOTO	Miembro de la Misión de Estudio Personal de la Segunda División de Capacitación, Departamento de Asuntos de Capacitación JICA
SR. HIRIFUMI MATSUYAMA	
LIC. YUKO YAGUI	Subdirector de JICA - México Interprete

PARTE MEXICANA

PEDAGOGO OMAR CHANONA BURGUETE	Director General de la Unidad de Televisión Educativa
DR. GERARDO OJEDA CASTAÑEDA	Director del Centro de Entrenamiento de Televisión Educativa
LIC. FEDERICO DEL VALLE OSORIO	Subdirector de Servicios de Entrenamiento
ING. HELIOS GOMEZ PINZON	Subdirector Técnico
LIC. ALMA GABRIELA NERY PEGO	Subdirectora Académica
ING. ARTURO SANTAMARIA ALDANA	Contraparte de Ingeniería de Producción
ING. MARCO ANTONIO GARCIA HOLM	Contraparte de Ingeniería de Producción
ING. JAIME MORALES REYES	Contraparte de Ingeniería de Producción
ING. OSCAR HERRERA MORA	Contraparte de Ingeniería de Producción
LIC. NEFTALÍ PEÑAFLOR VALDEZ	Contraparte de Producción
LIC. LUIS MIGUEL RIBERO LÓPEZ	Contraparte de Producción
PROF. NÉSTOR RODRÍGUEZ GARCÍA	Contraparte de Producción
PROF. JORGE OJANGUREN ROMERO	Jefe del Departamento de Diseño y Elaboración de Material Didáctico
SRA. RAQUEL GÓMEZ SÁNCHEZ	Traductora

メキシコ第三国集団研修「教育テレビ番組制作」事前調査結果概要 8、8、23 別添3

項目	要請内容(要請書、要望調査表等の要約)	我が方の対応方針	今回協議結果
1. コース名	(和) 教育テレビ番組総合制作 (英) Course on Production of Educational Television Programs	研修カリキュラムを十分検討した後に、内容にあったコース名とする。	(和) 教育テレビ番組総合制作 (英) International Training Course on Integral Production of Educational Television Programs
2. 目的	質の高い教育テレビ番組制作のため、企画から番組化までのステップを実習することで、テレビ番組制作プロセスの確修を行う。	・つぎのとおり、R/D上の通常の表現に準ずる。「中米・カリブ諸国の教育テレビ番組制作」を向上させるため、メキシコへのプロジェクティブ研修協力「教育テレビ研修センター」による成果を問迎園に普及させようとする」	対応方針に同じ。
3. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育テレビ番組制作における問題点の把握・分析 ・カメラ分野：撮影についての分析的姿勢の修得/撮影段階でよく起こる間違いの類型/撮影機器の正しい使用の修得 ・照明分野：スタジオ内及びロケ撮影におけるテレビ番組照明に必要な技術的・美術的条件の修得及び応用。 ・編集分野：音声・テレビ編集用機器にかかる技術の修得/テレビ番組編集の基本的理論の修得/独自のオペレーション、コントロール ・音声分野：技術的理論の修得/独自のための基本知識の修得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・番組プロデュース分野の到達目標を明確にする。 ・制作技術者の到達目標は一本化し、プロデューサー、技術者 それぞれに一つずつにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース全体の到達目標：教育テレビ番組の制作過程における専門的技術を修得する。 ・第1ステージ到達目標：プロジェクティブデザインや脚本制作を通じ、教育テレビ番組の制作について理解する。 ・第2ステージ到達目標：分析的姿勢をもちつつ、放送技術の修得を行う。 ・第3ステージ到達目標：上記2ステージを踏まえ、質の高い教育番組制作の技術を修得する
4. 研修期間	8週間 協力期間：1996年度から2000年度(5年間)	・5のカリキュラム内容を検討して、期間を決定する。	8週間 第一回目：1997年7月7日より8月29日 七協力期間：1997年度～2001年度
5. カリキュラム	第1ステージ(番組プロデュースを対象) 1、教育テレビの歴史 2、教育テレビの制作過程 3、テレビの教育的利用 4、視聴覚言語 5、教育テレビ指導法の基本 6、プロジェクティブデザインワークショップ 7、脚本ワークショップ 第2ステージ(番組プロデュース及び制作技術者を対象) 1、制作過程 2、招待園における制作過程 3、視聴覚言語 4、音声のエレメント 5、ナレーションのエレメント 6、カメラ、照明、音声、編集分野に分かれた制作技術研修 第3ステージ(番組プロデュース及び制作技術者を対象) 1、リプロダクション 2、カプセル関係 3、教育テレビ番組の実施 4、音楽教育番組の実施 5、ドラマ番組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実務研修中心にして、カリキュラム内容を整理する。 ・「番組プロデュース」及び「制作技術者コース」を別々に4週間程度行い、その後、合間で教育番組制作を4週間程度行うのが適当。 	第1ステージ(期間：5週間、対象：プロデューサー) 1、教育テレビの歴史 2、教育テレビの制作過程 3、テレビの教育的利用 4、視聴覚言語 5、教育テレビ指導法の基本 6、プロジェクティブデザインワークショップ 7、脚本ワークショップ 第2ステージ(期間：3週間、対象：放送技術者) 1、制作過程 2、招待園における制作過程 3、視聴覚言語 4、音声のエレメント 5、ナレーションのエレメント 6、カメラ、照明、音声、編集分野に分かれた制作技術研修 第3ステージ(期間：3週間、対象：プロデューサー及び制作技術者) 1、リプロダクション 2、カプセル 3、教育テレビ番組制作実習 4、音楽教育番組制作実習 5、教育ドラマ番組制作実習 なお、ホカリキュラムは複雑なため、R/D案添付のANNEXには、コース全体の構成も記載することとした。

項目	要約内容 (要調査、要調査表等の要約)	我が方の対処方針	今回協議結果
6. 調査国	中米・カリブ14ヶ国 (ベリーズ、コスタリカ、キューバ、エルサルヴァドル、グアテマラ、ホンデュラス、ジャマイカ、ニカラグア、ハイティ、パナマ、サンタールシア、トリニダード・トバゴ、プエルトリコ、ドミニカ共和国)	キューバは、調査国が署名するミニッツ付R/D案の調査国に入れない。ただし、メキシコ側からキューバ側への強い要望が出た場合は、調査国が持ち回り、外務本省の判断を仰ぐ。	キューバ及びプエルトリコは、調査国が署名するミニッツ付R/D案の調査国には入れない。ただし、メキシコ側からこの2地域に対する調査への強い要望が出たため、調査国が持ち回り、外務本省の判断を仰ぐこととする。
7. 定員	16名(うち、実施国 2名) ・プロデューサー 8名(うち、実施国 1名) ・製作技術者 8名(うち、実施国 1名)	キューバを調査国から除くため、周辺国から1名ずつ実施国から2名で、計15名とする。	調査国からさらに、プエルトリコを除いたため、周辺国から1名ずつ、実施国から2名で、計14名となった。ただし、外務本省での検討の結果、キューバあるいはプエルトリコへの調査が可能になった場合は、それに応じて定員も増やすことを検討する。
8. 資格要件	(1) 当該分野における職歴が2年以上の、 a) 番組プロデューサー(番組制作、視聴覚コミュニケーション、音声・照明・カメラ・ビデオ録画についての経験及び基本的知識を持つ者) b) カメラ、照明、音声技術の制作技術者 (2) 35歳以下 (4) 高校卒業程度 (5) 決められた手続きに従い、調査国の外務省を通じて推薦された者 (6) スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者	特に問題なし	1. プロデューサー (1) 職歴: 2年以上 (2) 学歴: コレージュ・教育分野で大学卒業以上 (3) 前提となる基盤: 番組制作、視聴覚コミュニケーション、音声・照明・カメラ・ビデオ録画 2. 放送技術者 (1) 職歴: 2年以上 (2) 学歴: 高校卒業以上 (3) 対象となる技術分野: カメラ、照明、編集、音声技術 3. 同者共通 (1) 決められた手続きに従い、調査国の外務省を通じて推薦された者 (2) 教育テレビ放送事業に従事している者 (3) 35歳以下 (4) スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者 (5) 心身ともに健康な者 メキシコ側の周辺国に対する窓口として、文部省を加えてほしい旨、メキシコ側より強い希望があったため、通常、窓口としてR/Dに記載する外務省とともに文部省を並記することとした。
10. 業務分業	記載なし、または通常の方法による。	通常の第三国研修スキームの例に従って実施する。	メキシコ側の周辺国に対する窓口として、文部省を加えてほしい旨、メキシコ側より強い希望があったため、通常、窓口としてR/Dに記載する外務省とともに文部省を並記することとした。
11. C/P 研修	要約は特になし。		協議においても特に要約はなかった。

項目	要請内容 (要請書、要望調査表等の要約)	我が方の対応方針	今回協議結果																														
12. 日本人 専門家 派遣	<p>1) 人数・期間： 時に明記なし</p> <p>2) 業務： 適切に研修が実施されるよう、技術・運営面から支援及び評価を行う</p> <p>3) 担当希望カリキュラム： ・教育テレビの歴史 ・教育テレビの製作過程</p>	<p>・第三回研修における専門家派遣の考え方（研修実施主体はメキシコ側である）を十分説明し、専門家派遣はかなりの敷しいことを十分説明する。</p> <p>・要請のような内容での専門家派遣は大変困難である。</p>	<p>・本年2月に我が国からの技術協力が終了したばかりであり、カウンスラーパートの自費を促すためにも第1回日コニスへの短期専門家派遣は行わない。</p> <p>・第2回日コニスについては、メキシコ側から要請が出た際に、改めて検討する。</p>																														
13. 日本側 負担経費 内訳	<table border="0"> <tr> <td>受入諸費</td> <td>63,392 (US\$)</td> </tr> <tr> <td>航空費</td> <td>8,400</td> </tr> <tr> <td>交通費 (空港→ホテル)</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>日当</td> <td>14,560</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>38,584</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>研修諸費</td> <td>50,580 (US\$)</td> </tr> <tr> <td>現地交通費</td> <td>2,480</td> </tr> <tr> <td>実習費</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>テキスト作成・購入費</td> <td>11,360</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>1,240</td> </tr> <tr> <td>会議費 (開閉講式)</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>消耗品購入費</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>113,972</td> </tr> </table>	受入諸費	63,392 (US\$)	航空費	8,400	交通費 (空港→ホテル)	308	日当	14,560	宿泊費	38,584	保険料	1,540	研修諸費	50,580 (US\$)	現地交通費	2,480	実習費	25,000	テキスト作成・購入費	11,360	印刷費	1,240	会議費 (開閉講式)	2,500	消耗品購入費	4,000	その他	4,000	合計	113,972	<p>・「実習費」及び「その他」の明細を提出させる。</p>	<p>・最終的な定員及び研修期間の決定により、受入諸費等が減った。</p> <p>・詳細が不明なため、「その他」は削除した。</p> <p>・会議費は基準一杯認めることとし、増額した。</p> <p>・実習費は詳細な明細の提出があり、協議の結果、最終的に27,943ドルを認めることとなった。</p> <p>以上により、総額93,551ドルとなり、実習費等の研修諸費に配分しつつ、10万ドル以下に抑えることが出来た。</p>
受入諸費	63,392 (US\$)																																
航空費	8,400																																
交通費 (空港→ホテル)	308																																
日当	14,560																																
宿泊費	38,584																																
保険料	1,540																																
研修諸費	50,580 (US\$)																																
現地交通費	2,480																																
実習費	25,000																																
テキスト作成・購入費	11,360																																
印刷費	1,240																																
会議費 (開閉講式)	2,500																																
消耗品購入費	4,000																																
その他	4,000																																
合計	113,972																																

メキシコ国第三国集団研修「教育テレビ番組総合制作」に係る
ロジカルフレームワーク

研修コースの概要 Narrative Summary	指標 Verifiable Indicators	指標データ入手手段 Means of Verifications	重要な外部条件 Important Assumptions
<p>1. 上位目標 Overall Goal</p> <p>中米・カリブ諸国の遠隔地等に対する公共教育において、テレビ番組の活用が増大し、国民全体の教育水準が向上する。</p>	<p>1) 教育番組関連のプロデューサー及び放送技術者の増加及び質の向上</p> <p>2) 放送局での教育番組制作本数、放送時間数の増加</p> <p>3) 初等教育修了者数の増加</p>	<p>1) 割当各国の文部省の年次報告書等</p> <p>2) 同上</p> <p>3) 同上</p>	<p>1) 各国が教育向上を重点施策とする方針を変更しないとす</p> <p>2) 公共教育へのテレビ導入のために十分な資金、施設が保証される。</p>
<p>2. 研修の目標 Project Purpose</p> <p>研修員が研修で修得した知識および技術を生かし、母国における教育テレビ番組制作分野の技術向上及び人材育成に貢献する。</p>	<p>1) 帰国研修員の研修成果の活用状況</p>	<p>1) 帰国研修員に対するクエスチョネアの分析</p>	<p>1) 帰国研修員が所属機関で勤務を続ける。</p>
<p>3. 研修の成果 Outputs</p> <p>1) コース全体：教育テレビ番組の制作過程における専門的技術を修得する。</p> <p>2) 第1ステージ：プロジェクトデザインや脚本制作を通じ、教育テレビ番組制作を理解する。</p> <p>3) 第2ステージ：分析的姿勢を持ちつつ、放送技術を修得する。</p> <p>4) 第3ステージ：上記2ステージを踏まえ、質の高い教育番組制作の資質を修得する。</p>	<p>1) 年次別、国別研修修了者数</p> <p>2) 研修員による研修修了時評価</p> <p>3) 研修実施機関による評価</p> <p>4) 日本人専門家による評価</p> <p>5) 研修修了時テスト</p> <p>6) 研修修了者の帰国後の活動状況</p> <p>7) コースの運営状況</p>	<p>1) 研修実施機関作成のコースレポートの分析</p> <p>2) 同上</p> <p>3) 同上</p> <p>4) 専門家報告書の分析</p> <p>5) テスト結果の分析</p> <p>6) 帰国研修員に対するクエスチョネアの分析</p>	<p>1) 帰国後、研修員が研修成果をフィードバックできるポジションにいる</p>
<p>4. 活動 Activities</p> <p>メキシコへのプロジェクト型技術協力「教育テレビ研修センター」による成果を普及させることにより、中米・カリブ諸国の教育テレビ番組制作技術を向上させる。</p> <p>1) コース名： 教育テレビ番組総合制作</p> <p>2) 研修期間：毎年約8週間 (第一回目は1997.7.7-8.29)</p> <p>3) 研修機関：教育テレビ研修センター(CETE)</p> <p>4) 割当国と定員数 中米・カリブ12か国 14名</p> <p>5) 応募資格 (省略)</p> <p>6) カリキュラム (省略)</p>	<p>投入 Inputs</p> <p>日本側</p> <p>1) 日本側負担の研修実施経費</p> <p>メキシコ側</p> <p>1) 日本側負担以外に必要な研修実施経費</p> <p>2) 講師、スタッフの配置</p> <p>3) 研修・宿泊施設の提供および機材、教材の調達、整備</p> <p>4) 講義・実習の実施</p> <p>5) その他必要な便宜供与</p>	<p>1) R/DIに即した内容が実施される</p>	<p>前提条件 Pre-conditions</p> <p>割当国に</p> <p>1) コースニーズがある。</p> <p>2) 研修有資格者がいる。</p> <p>実施国において</p> <p>3) 適切な講師、コーディネーターの確保が可能である。</p> <p>4) 研修に必要な施設、機材、教材等が整備されている。</p> <p>5) 関連予算が確保されている。</p>

メキシコ第三国集団研修「教育テレビ番組総合制作」事前調査団
帰国報告会議事録

日時 1996年8月30日(金) 14:00から16:00
場所 JICA研修事業部会議室
出席者 調査団 JICA筑波国際センター 三澤 研修1課長
NHK 加藤 国際企画部副部長
JICA研修事業部第二課 竹本職員

郵政省国際協力課 岡本氏
JICA社会開発協力部第二課 伊藤課長代理
JICA企画部地域第二課 天津職員
JICA研修事業部 飯田 研修2課長
JICA研修事業部研修2課 藤沢職員

1. 調査概要説明(竹本団員)
2. 団長所感(三澤団長)
3. 研修分野及びNHKの今後の協力について(加藤団員)
4. 質疑応答

(メキシコ独自実施の国際研修「遠隔地教育」について)

藤沢： 団長所感で、「遠隔地教育」研修を今年度実施することについて、メキシコ事務所より事前情報が欲しかったとの話があったが、私がメキシコ事務所で本件担当していた時、事務所より通知したはずである。

竹本：確認してみる。

(あとで確認して見たところ、別添の新聞記事及びその和訳が本部に4月30日付で送付されていた。)

(専門家派遣について)

伊藤： 加藤さんより、プロ技のアフターケアの形で専門家派遣を行ないたいとの話があったが、まだ終了して間もないため困難であり、却って、第三国研修への短期専門家スキームの方が派遣しやすいと思われる。

藤沢： スーパーバイザー的な人で構わないので、是非専門家を派遣してほしい。研修内容が適正に行われているかどうかは、何らかの形でNHKからサポートがないと、事務所だけでは評価できない。

加藤： メキシコ側は自立しており、講義担当のための専門家派遣は必要ないと考える。ただし、第三国研修の結果作成される番組(ビデオ)をメキシコ事務所を通じて提出させ、日本のNHKにて講評し、講評結果をメキシコ側に伝えることにより、第三国研修に対するNHKとしてのフィードバックを実施したい。

天津： (質問) 8週間の間に実技を修得させることが目標なのか、それとも単に技術紹介にとどまるのか。

加藤： 実技を修得させることが目標。最後の第3ステージの3週間は、3本の番組を作るので、短いくらいである。

天津：（質問）定員を満了だけの応募が割当国からきちんとなされると考えるか。

三澤：文部省に独自の募集のルートがあると聞いており、問題はないと思われる。

天津：（質問）集団コースを同じ分野の第三国研修で肩代りするという話が(団長所感で)出たが、実際は困難ではないか。

三澤：エジプトの米作の第三国研修については、前あった仏語圏アフリカ向け集団コースと内容も割当国も同じであり、代替の研修コースとなっている。内容、レベル等が同じであれば、第三国研修で本邦研修を代替することは可能ではないか。

以 上

Ayudará México a que CA adopte el sistema de telesecundari

● Abstergió el presidente Ernesto Zedillo la firma de un convenio en materia educativa con ministros de ocho naciones ● Comprende la formación de profesores y el uso del sistema satelital Edusat, señala el titular de la SEP, Miguel Limón Rojas ●

Por JUAN ARVIZU A.
Reportero de EL UNIVERSAL

México cooperará para que los países de Centroamérica adopten el sistema de educación de telesecundaria, vía satélite, en el que estudian poco más de un millón de mexicanos en pequeñas comunidades de difícil acceso.

Estos acuerdos apoyan, dijo el presidente Ernesto Zedillo, la mejor preparación de los niños y jóvenes de nuestra región, por lo que se trata de una inversión de primera importancia para construir un futuro de superación individual.

Firmaron en Los Pinos el acuerdo de cooperación en educación a distancia ministros representantes de los gobiernos de Belice, El Salvador, Guatemala, Honduras, Nicaragua, Panamá y Costa Rica, así como el secretario de Educación Pública, Miguel Limón Rojas, quien detalló:

"El acuerdo comprende la formación de profesores para la aplicación del modelo de la telesecundaria y la capacitación de perso-

nal especializado en el uso de tecnologías educativas y a la comunicación satelital, por medio del sistema Edusat.

Ante el presidente Ernesto Zedillo y su esposa Nilda Patricia Velasco, el secretario de Educación Pública, Miguel Limón Rojas, refirió que en telesecundaria opera una red de

diversa

Zedillo comentó que la educación a distancia permite extender la cobertura de la educación, corrigiéndola con una calidad adecuada, y es un campo extraordinariamente promisorio para abatir el rezago educativo en nuestros países.

La educación a distan-

cia es lo adecuado, pues la geografía de nuestros países se caracteriza por la dispersión de comunidades pequeñas distantes entre sí y de muy difícil acceso. Es la opción para llevar la telesecundaria, a través de programas apropiados, diseñados para su población y adaptados a las necesidades locales.

A su vez, el ministro de Educación de Costa Rica, Eduardo Doryan Gamon, dijo que la telesecundaria permitirá cerrar brechas de conocimiento, ofrecer oportunidades entre lo rural y lo urbano, entre sectores sociales y las regiones.

Sólo la educación de adolescentes y jóvenes -agregó Doryan- nos permitirá encontrar más innovadores caminos propios hacia el desarrollo sostenible, sin miedo a la tecnología.

Con la telesecundaria se les estará dando a jóvenes de nuestros países la más poderosa fuerza capaz de vencer a la brecha, las diferencias sociales. Eso hace bien por la cohesión social y la consolidación democrática toda la región", dijo.



EL UNIVERSAL/Manuel Navarrete

Arabella Castro, de Guatemala, firma el acuerdo de cooperación en materia de educación a distancia, ayer en Los Pinos, junto con ministros representantes de otros seis países de Centroamérica. Observan el presidente Ernesto Zedillo y el secretario de Educación Pública, Miguel Limón Rojas.



EL UNIVERSAL/Manuel Navarrete
Eduardo Doryan Gamon, ministro de Educación de Costa Rica, habló en nombre de sus colegas de CA.

11,000 escuelas, particularmente en las zonas rurales. Inició operaciones en 1968 y hoy cuenta con un sistema satelital de transmisiones.

Este medio de comunicación también se emplea para capacitar y actualizar al magisterio. Edusat es un sistema que funciona con seis canales, que pueden enviar señal a toda Centroamérica.

Dijo el secretario: Hoy el presidente Ernesto Zedillo pone a la disposición de los países de Centroamérica el beneficio de este importante avance tecnológico, así como el Centro de Entrenamiento de Televisión Educativa, para el personal que produce y transmite material educativo au-

メキシコ、中央アメリカでの テレビ中学校制度採用を支援

メキシコは、中央アメリカ諸国が、メキシコ国内のアクセスが困難な地域で現在百万人以上が学んでいる衛星を使ったテレビ中学校制度を、採用するにあたっての協力をすることとなった。

エルネスト セディージョ大統領は「本合意は、我々の地域（中米）の青少年の学識向上を助けるので、自己改善の未来を創るための重要な初期投資といえる」と述べた。

ロス ピノス（大統領官邸）で、ベリーズ、エルサルバドル、ガテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、コスタリカ各国代表とミゲル リモン ロハス 当国教育大臣により、遠隔地域教育にかかる協力合意が署名された。

リモン大臣は、「本合意は、テレビ中学校のモデルを応用するための教員、教育技術や Edusat システムを通じた衛星通信技術の専門家の養成を含んでいる」と詳細を述べた。

エルネスト セディージョ大統領とニルダ バトリシア ベラスコ大統領夫人を前に、ミゲル ロハス リモン教育大臣は「現在、地方を重点に11,000校をつないでいるテレビ中学校は、1968年に運営を開始したが、今では衛星による遠隔システムを持つに至った。本コミュニケーションメディアは、教員の養成や再教育にも使われている。Edusatは中央アメリカ全域をカバーする6チャンネルからなるシステムである。」と話した。

また、大臣は「本日、エルネスト セディージョ大統領は、中央アメリカがこの重要な技術革新 (Edusat) と同時に、教材を制作し、送る人々のための 教育テレビ研修センター の恩恵を中央アメリカ諸国が利用できるようにした」と述べた。

セディージョ大統領は「教育の質を保証し、領域を拡大する遠隔地教育は、我が国の教育の後進的な部分を打ち倒すために、非常に効果期待できる分野であり、小さな村々が互いに離れて散在し、アクセスも難しいというわが国の地理的条件からも、

最適なものである。それぞれの地域の必要性に応じた、それぞれの国民に向けた適切なプログラムを通して、テレビ中学校を実施することが選択されることになる。」とコメントした。

また、コスタリカのエドゥアルド・ドリアン・ガロン教育大臣は「テレビ中学校は、知識の差や、都市と地方間、社会・地域セクター間のアクセスと機会の差を埋めることになる。成人教育と青少年教育だけが、技術に対する恐怖なしに、持続可能な開発に向けた独自の革新的な道を見つけることを保証する。テレビ中学校によって、我々の国の青少年に最も強い力、貧困や社会的な困難に打ち勝つ能力を与え続けることができるであろう。それが社会の団結と民主主義の強化をもたらすのだ」と述べた

写真注

左：コスタリカ、エドゥアルド・ドリアン・ガロン教育大臣が、中央アメリカの仲間を代表して話す。

中：昨日、ロス・ピノスにて、他の中央アメリカ6か国の代表とともに、ガテマラのアラベージャ・カストロ女史が、遠隔地教育に関する強力合意書に署名。

エルネスト・セディージョ大統領、ミゲル・リモン・ロハス教育大臣が見守る

遠隔地教育

メキシコ合衆国文部省とベリーゼ文部省、コスタリカ文部省、エルサルバドル文部省、グアテマラ文部省、ホンジュラス文部省、ニカラグア文部省、パナマ文部省の遠隔地教育に関する協力協定

メキシコ合衆国文部省(SEP)とベリーゼ文部省、コスタリカ文部省、エルサルバドル文部省、グアテマラ文部省、ホンジュラス文部省、ニカラグア文部省、パナマ文部省は、

地域諸国間の関係の特徴付ける伝統的な協力、教育や文化交流における協力を自覚しており、特に、地域内での教育の向上を継続するための、交流、支援、援助をさらに活発にすることにに関して相互に関心があることを力説した、トックスツラ会議IIでの合意、を自覚し、

メキシコ合衆国政府は、文部省(テレビ中学校局、その教育的モデルは以後「モデル」と称する。又、教育テレビ局も以後「UTE」と称する。教育テレビ訓練センターは以後「CETE」と称する。)を通して教育モデルに関する制作・プロモーション・研修に必要なインフラを発展させてきた、という事実を考慮し、

以下を合意する。

第1条：本協定の目的は、テレビ中学校モデルの適用のための教師、並びに新しい教育技術の使用のために技術者を養成することにある。

第2条：本目的実現のために、当事者は下記を約束する。

SEP：

- － 通信衛星EDUSATのデジタル信号受信用のデコーダーを各国に1台供与し、操作に必要な技術援助を行う。
- － 短期間の内に、テレビの支援を得た教育システムを適用する目的で、1996年第3四半期に、地域で300名の教師、各国当たり平均40名の教師を技術指導するため、メキシコ政府が飛行機代、旅費を持ち、各国当たり、3名の講師を派遣する。
- － 「モデル」を正しく適用するために必要な印刷教材のオリジナル・バージョンをコンピューター用ディスクで「文部省」に提供する。
- － 教育テレビの人材育成のために、各国当たり2名の専門家がCETE施設で本プロジェクトのために計画されるコースに参加することが見込まれる。メキシコ政府は飛行機代、旅費を負担し、その者たちのメキシコへの入国、滞在に必要な便宜を計る。
- － メキシコ市からの衛星による教育テレビ放送によって、教師や人材養成・研修を補うセミナーやコースを放送する。

「文部省」(訳者注：テキストには規程はないが、メキシコ以外国々の文部省を指すと思われる)：

- － 研修を受ける人材を選出し準備し、その者たちに必要な便宜を計る。同時に、メキシコ人専門家の業務遂行を確実にするために必要な対策をとる。
- － CETEで実施する研修に参加する者を選出する。そして、取得した知識や経験を同僚達と分かち合い、短期間のうちに自国に於て「モデル」の基礎固めができるように、研修参加者が同じ職場に残るようにすることを約束する。
- － 自国のテレビチャンネルを使って遠隔地コースを放送する権利のみを有する。その際には、SEPのクレジットをいれること。全ての書物ならびにテレビ素材の財産権はSEPに属することを認める。
- － 本協定で規定する活動のために再製造する素材の数量をSEPに通知する義務を有する。
- － 必要な機材を購入し、必要に応じて自国内でカバーする地域を拡大することができる。
- － 各国の表現方法や文化事情に合わせて、必要と思われる場合は印刷物の修正を行う。メキシコの歴史については、事前にSEPの合意を得た場合のみ修正を行うことができる。

第3条：SEPと「文部省」は、「モデル」の適用を確実にし、更に改善し、各国の必要性に合った調整を行うための適切な方法を、合意の上で評価し採用する。

第4条：SEP並びに「文部省」が委任する者は、所属する機関の支持に従い所属を継続する。従って、他の機関(訳者注：研修などで派遣される場合の派遣先の機関のことと思われる。)とは雇用関係を成立しない。ゆえに、その機関は後からの雇用主とはいかなる場合も考慮されない。

第5条：各当事者は、その人材が遭遇する事故あるいは財産に対する被害の責任を負う。ただし、重大な怠慢あるいは詐欺行為の結果である場合は別である。この場合、該当の賠償が支払わなければならない。

第6条：当事者である一つの国から当事者である別の国に人が派遣される場合、その者は受入れ国で有効な法律に従わなければならない。受入れ国においてこれらの派遣人材は、自分たちの本来の役目以外の活動を行うことはできないし、決められた以外の報酬を受けることはできない。ただし、事前に両当事者の了解があれば別である。

第7条：本協定は、当事者の相互了解があれば修正することができる。この修正は書面による通知によって正式化されなければならない。この書面による通知には当該修正が効力を発する日付を明記すること、ただし、その日付は、採択に日付から数えて3か月を越えてはならない。

第8条：本協定の解釈あるいは適用に違いが生じた場合には、合意の上で解決を計ること。そして必要な場合には、当事者は、その不和が生じた時から数えて6か月以内に集まる。

第9条：本協定は調印の日付から効力を発し、3年間有効である。ただし、当事者のいずれかが本協定の終了を決意し、それを書面によって他の当事者に通告したならば、その通告が受けとられてから3か月後に効力を発する。

1996年4月25日、スペイン語で書かれた8部をすべて同じように正式の原本と認め、メキシコ市にて、調印する。

(判読不明の署名)
メキシコ合衆国文部省として

(判読不明の署名)
ベリーゼ文部省として

(判読不明の署名)
コスタリカ文部省として

(判読不明の署名)
エルサルバドル文部省として

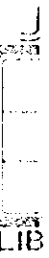
(判読不明の署名)
グアテマラ文部省として

(判読不明の署名)
ホンジュラス文部省として

(判読不明の署名)
ニカラグア文部省として

(判読不明の署名)
パナマ文部省として

JICA



LIB